

第36回全国健康福祉とっとり大会

ねんりんピックはばたけ鳥取2024

咲かせよう砂丘に長寿と笑みの花

令和6年10月19日(土)～22日(火)

開催記念リハーサル大会



とっとり俳句大会句集

(募集句)



令和五年十一月十九日

主催 ねんりんピックはばたけ鳥取2024鳥取市実行委員会
共催 鳥取県俳句協会
後援 鳥取市・鳥取市教育委員会・鳥取県教育委員会

目次

一般部門

選者特選賞 1

正賞 2

准賞 2

作品集 3

ジュニア部門

優秀賞 11

入選 12

作品集 15

募集句 一般部門 選者特選賞

傘持てば我も踊子鈴を振る

鳥取県米子市

平山 淑子

残雪の北壁指呼に芝出荷

鳥取県西伯郡大山町 入倉 史子

翼あるやうな親子や大花野

鳥取県米子市 岩水 節子

募集句 一般部門 正賞

長老と何時しか呼ばれ木の葉髪

鳥取県米子市

由木 みのる

花火果て小児病棟灯り消ゆ

富山県滑川市

折田 祐美子

船名は妻の名一字雲の峰

鳥取県東伯郡

圓山 淳子

募集句 一般部門 准賞

泡を吹き売らるる蟹の独り言

奈良県奈良市

堀ノ内 和夫

さり気なく入りて巧みな踊人

東京都足立区

木幡 忠文

病む夫へ子ら夜なべして千羽鶴

鳥取県東伯郡

山下 しのぶ

作品集 (一般)

- 花々の香り乗せ来る霧の朝 鳥取県 松村 智恵子 風鈴や祖母のパタパタ駆ける音 佐賀県 古賀 由美子
 椿の葉蕾の赤が照り映える 夏芝居少女乙女になりにつけり
 フレイルの予防は句会秋麗 鳥取県 伊藤 明美 朝顔の虚空に蔦の彷徨へる 鳥取県 谷岡 幸江
 夫預け独居に慣れし夜半の秋 日矢射して湖面揺蕩ふ浮寝鳥
 春の風邪治らぬままに転勤す 鳥取県 岡部 文雄 夜の秋キリン博士の書を開く 鳥取県 八幡 飛翔
 漁り火の微かに滲む海朧 暮色に触れば絵となる赤とんぼ
 夜半の秋昔むかしと祖母の声 鳥取県 出木 俊子 浮雲の動かぬ空や秋暑し 鳥取県 福羅 加代子
 英霊の父に軍歌や終戦日 電線に小鳥のうたふ通学路
 三月十一日天より落つる返事かな 鳥取県 河 本 貴 気紛れの犬の散歩や百日紅 鳥取県 北原 順美
 寒月へ素肌を晒す娼婦かな ベビーカーまどろむ雨後の小鳥来る
 琴の音に雅の深む藤まつり 鳥取県 砂流 育子 棚経に遅れし僧の申し訳 鳥取県 和田 田鶴子
 帰省子の方言使ひ続けしと 教室のテラス訪問青大将
 砂丘に来秋の気配に踏み込みぬ 鳥取県 上村 いたる 鯛船引くよをなごと爺と婆 鳥取県 野間田 芳恵
 一歩づつ月の砂丘を一歩ずつ 忍ぶ人ありて十五夜松の影
 白紙かな指折り数え焦る親 鳥取県 太田 里絵 葉桜や子らの駆け出す昼休み 鳥取県 五百川 知子
 すいかわりわるだけぜんりよく楽しいな アンテナの空をまさぐる蝸牛
 目覚めればちいさな紅葉熟睡中 鳥取県 足利 聖子 山深きたたらの里に小春風 鳥取県 細木 義文
 大山の蝶に虫ピン夏休 鳥取県 都田 玲子 古井戸に巻きつく帯は苔の花
 万緑を背に球児への応援歌 沸点を生きる地球に蟬時雨 鳥取県 川本 りんどう
 古希なりて今顧みる枯芒 岩手県 千葉 信 鷺の巢が有るのか山はざわめきて
 萩咲くや身体衰え粟要る ずつしりと両手に余る西瓜かな 鳥取県 大西 一義
 忘れたいこと塗りつぶす日向ぼこ 滋賀県 野口 成人 新涼や深山の宿静寂なる
 還らない時間の中を散るさくら 漁火の十程かぞへ風涼し 鳥取県 中西 双葉
 夏の空初志つらぬいてナイジェリア 鳥取県 田部 慈子 値札見てあみめメロンの前過ぐる
 夏の空ナイジェリアへと続く空 火を囲み夢を語れば星流る 鳥取県 澤田 恵子

作品集 (一般)

- 西日射す小部屋なれども我の城 鳥取県 澤田 恵子 古里は義妹まかせや盆の月 鳥取県 田村 鈴代
 ふるさとの月よ訛よ米寿の賀 鳥取県 大泉 隆子 不埒ほどなる花びらや紅牡丹
 夕映えやミニ菜園の夏終はる 一夜さの風巻き込みし烏瓜 鳥取県 高田 愛子
 傘踊り天女のチーム踊り過ぐ 鳥取県 足羽 鮮牛 離陸する友抱きたる西日かな
 因幡の川なほ濁流や夕月夜 揚花火水面に音を叩きつけ 鳥取県 福本 國愛
 彼岸寺老人向けの椅子の席 東京都 石川 昇 朝風に木犀の香の生れたて
 春光や古希にも少し疼くもの そばかすのかたちを揃え梨の秋 兵庫県 今 北 渚
 初盆のお骨を抱けば君の声 鳥取県 梅津 由子 いつもより登れば急な梨畑
 清らかな骨の白さも土用過ぐ 稲穂垂れ嫁ぎし日より腕まくり 兵庫県 野崎 精子
 追ひ風や落ち葉が抜かす遊歩道 大分県 吉田 紫紅 春月や砂丘によせる白き波
 温泉の湯面たゆたふ冬の月 梨の花すぐそこにゐて遥かなる 兵庫県 今 北 葵
 藩廟に異国の言葉蓮の花 鳥取県 井上 登志枝 満天の星が咲きたる砂丘の夜
 秋めくや田の面を渡る風の音 母とゐた砂丘の秋を忘れめや 兵庫県 野崎 眞奈美
 呼び鈴へくそかづらの背伸びかな 鳥取県 田原 悦子 今日咲くか梨の花待つちようちよかな
 秋深し一会の杖を縁とし 星巡り月の里人砂丘に還る 兵庫県 今北 眞奈美
 プール開き水かけごっこよりはじむ 鳥取県 大下 秀子 梨の実をひとつふたつと数える吾子
 波蹴つて生まれたてなる春の月 旅の帰路バス一擲の大夕立ち 鳥取県 西尾 良子
 帰省すや遺影増えたる生家へと 鳥取県 坂口 恵子 孫曾孫集ひ息子の初盆会
 門札はまだ兄のまま魂迎ふ 秋灯明し若沖の百花図 鳥取県 阿部 春代
 流れゆく雲に夏の日惜しみけり 鳥取県 山本 和子 風無くに花からすうり裂けに裂け
 山寺の残暑の一打響きけり 昼顔や波の秀尖る日本海 鳥取県 山田 哲夫
 ニーハオにアンニョンハセヨ踊の輪 鳥取県 松本 素子 秋桜揺らして過ぐる一輛車
 継がぬ田を眺めてをりぬ帰省して しやんしやんと鈴の音たのし夏祭 鳥取県 沢田 有湖
 祝い酒みんな輪になり大笑い 鳥取県 笠岡 道子 憂きことを吹っ飛ばしたる大花火
 ちびちゃんも一緒に乾杯お正月 野仏にかすかに触るる草の花 鳥取県 有本 泉水

作品集（一般）

葛の花峠越えれば妣の里 鳥取県 有本 泉水 午前五時点けたばかりの春炬燵 東京都 大野 栄一
 鱈漁や投げて弧をかく被せ網 鳥取県 河本 久美子 初笑孫のおもちゃに包囲され
 真東を峰に刻みて夏至日の出 さざん花に水やりし父傘寿の背 東京都 尾崎 理恵
 まじりなき空の青さよ向日葵黄 鳥取県 清水 節子 くさめして小言を全て忘れ去る
 老犬の舌垂れあえぐ猛暑かな 湯豆腐よ寂しく残るブツフェかな 東京都 和田 直人
 朝焼けや一瞬夏を染めし刻 鳥取県 林 伸子 風を待つ額に輝く夏初め
 初搾りワイン聖なる秋の声 枯草やこごぞとばかりしやべりだす 京都府 松本 俊彦
 パンパース初めて外す薄暑かな 鳥取県 長門 頸子 見えぬものすべてわかりし枯鶏頭
 青時雨孫と足湯で湖眺め 山の声蟬に変はつてをりし今朝 鳥取県 高田 しげ子
 つぎつぎと新種生まれて梨どころ 鳥取県 平山 照美 稲妻や等間隔に電波塔
 野を渡る秋の気配や山の道 秋灯深夜ラジオのピアノの音 鳥取県 杉山 万寿美
 鰯打てばあわや蚯蚓が真つ二つ 鳥取県 天野 道春 流木も波に磨かれ秋暑し
 入梅の予報にめざす城跡かな 秋灯看取りの嫁の影やつれ 鳥取県 中谷 一枝
 万感を胸に黙禱 原爆忌 鳥取県 笠見 弘美 稲熟るる試し刈りして農継ぐ子
 箱書きに喫茶去とあり風薫る 農継ぎてまだまだ元氣稲の花 鳥取県 岩水 節子
 半折の墨を滲ます夕立雲 鳥取県 上野 温子 乳飲ます帰省若嫁肌見せず 鳥取県 石井 景子
 散歩道夏草にある強さかな 門川に名水流れ里涼し
 幾年もこの地に住みて秋の蟬 鳥取県 川本 経子 倒木の生きて匂へり台風過 鳥取県 玉井 瑛子
 時刻表訪日客に秋の風 今日の色今日の香りに返り花
 五つ受け三つも返せぬ水鉄砲 大阪府 岡田 諭志 新涼の風百年の通し庭 鳥取県 岡本 ゆみえ
 甲子園二回つぎ足す檸檬サワー 遠来の子等ばかりなる盆の客
 トマト挽ぎ黒く染まるや祖母の指 神奈川県 久保田 記祥 きつと子の夢もゆれあるハンモック 鳥取県 尾田 美智子
 完走の我が師やビールもて笑う 揚花火城下三十二万石
 首に葱とうとう巻いた試しなし 東京都 高森 勇旗 学舎に別のにぎはひ小鳥来る 鳥取県 椋 麻里子
 妻子寝て肴を探す夜長かな 枯芒タクトに変はる散歩道

作品集 (一般)

- 宇宙基地回りみるらん銀河濃し 鳥取県 堀江 典子 ハングルのボトル打ち上げ春の浜 大阪府 中谷 紫乃
 陋屋を独り守る腕日焼けして 星月夜誰と眺めた上寺朗
 虫音色山の上から月のぞく 鳥取県 坂本 啓子 ゆつくりと動くりフトや風は秋 鳥取県 池本 和江
 月冴えし涼のしづくに命延び 朝顔の水やりはあとレモンティー
 子子や庭の水瓶さかさまに 鳥取県 小泉 河南子 ルビ欲しき子の名数多や子供の日 鳥取県 小林 澄子
 空仰ぎ粽ほほばる男の子 児等の歌聞く敬老の日の一日
 朝顔の日暮まで咲き忌日かな 鳥取県 角森 みほ子 水吸うてきりなき砂地綿の花 鳥取県 景山 みどり
 霧が霧追ひ旅人も又追はれ 芥子赤し決意せねばの刻来たる
 出航のエンジン音や秋澄めり 鳥取県 西村 貴美子 山峡にしたたかに生き杜鵑草 鳥取県 中尾 陽子
 ジューサーの泡盛り上がる今朝の秋 辣薤掘る砂丘にほんの点となり 鳥取県 近藤 静子
 紅あかの紅の市場やズワイ蟹 鳥取県 今井 京子 濁世にもなほ美しき朝の露
 色揺らし風と遊べる秋桜 秋晴や便りをしたく旅したく 鳥取県 大山 えい子
 鳥渡る新校名は小鴨小 鳥取県 入倉 史子 茜さす雲の階段鳥渡る
 粽解く青き香と声広ごり来 鳥取県 米澤 郁子 堪えしお酷暑の日々や試練とす 鳥取県 岩崎 扶季子
 西日背にさらに重たきランドセル 駆け込みし軒端の一会大夕立
 同胞と耐ふる台風一つ屋根 鳥取県 吉村 良子 禁酒したる夫に一献魂祭 鳥取県 圓山 淳子
 甘露煮にしたる実梅のほの苦し 尺蠖の五体投地や枝の上 鳥取県 小谷 里子
 秋蝶の終焉野路はひなた雨 鳥取県 定常 まゆみ 草取りに山羊の貸し出し山羊牧場
 花野道雲の形に影走る 麦の波音高らかにコンバイン 鳥取県 真山 昭子
 松やにのほひの記憶終戦日 鳥取県 中嶋 武士 修業者の心鎮めて杉落葉
 ちちははの野辺は天界曼殊沙華 笛の音の聞えてくるか鯛雲 鳥取県 西尾 綾子
 穂孕みし田に容赦なき秋出水 鳥取県 重森 弘行 秋祭り神社の境内幟立つ
 農継がぬ子に届きたる今年米 紅白の供華にともらふ千日紅 鳥取県 溝部 栄子
 金色に波うつ風や稲熟るる 鳥取県 坂本 雪枝 朝焼けを受くる朝顔空の色
 野路を行く秋の七草数えつつ 夏旺んざんばら髪の手撲取 鳥取県 房安 栄子

作品集 (一般)

- 青嵐男の子の髪の毛すぐ伸びて 鳥取県 房安 栄子 密偵の西域紀行秋灯下 鳥取県 中野 郁子
 夫を待つことにはふれず日向ぼこ 鳥取県 野村 裕子 京に舞ふ二星相会ふ夜の楽
 耳鳴りと違へし日々や蟬時雨 足跡も砂に埋れし浜の秋 鳥取県 山下しのぶ
 月見団子丸く丸く母の手で 鳥取県 吉澤 丸子 下校児のさいならばいばい稲穂波 鳥取県 太田 淳子
 家出して自立誓うや星月夜 足萎ゆる夫を誘ふ 縹雲
 新涼や座敷にすつと背戸の風 鳥取県 浜田 公惠 スバイク脱げ駆けしグランド青しぐれ 鳥取県 浅田 理恵子
 雨あがり虫の声待つ夕間暮れ 水滴ちてウエディング待つ稲の花
 夕焼けや空と海との世界かな 鳥取県 岡村 玲子 川土手に赤く染るる彼岸花 鳥取県 高木 秀子
 じわじわと季節巡りて赤とんぼ 天高し雲の合い間に青く見え
 海風に秋の風鈴鳴りどおし 鳥取県 石原 宣子 集ひ来しスポーツ仲間老涼し 鳥取県 小林 愛子
 古墳丘すっぽり包む夏木立 老の愚痴聞きつつ介護すみれ草
 日焼顔被せて水を飲む男の子 鳥取県 西村 史子 白帝や木々の天辺染め初むる 鳥取県 平山 淑子
 がつしりと仁王立ちなる弁慶草 土砂降りの止んで秋思の空残る 鳥取県 宮脇 典子
 菜を間引く息かかるほど屈まりて 鳥取県 野坂 真里 けふまでの狭庭に歴史落し文
 野を渡りつつ今朝秋の蝶となる 夏場所や故郷沸かせて伸び盛り 鳥取県 吉田 やす子
 風吹けば畑に秋思を埋むるかな 鳥取県 足羽 敬子 新涼に家事の計画動きだす
 本棚に夫の付箋や秋惜む 西日浴び素振りの影のびる童ら 鳥取県 小谷 昇一
 蛸の輪唱覆ふ山暮るる 鳥取県 田中英也 雨音ポツリ静寂に沈むソロキャンプ
 とつとり梨溢るる甘さ秘むるかな 台風と同じく荒れる内示の書 鳥取県 松本 圭一
 山粧ふ縁とりもつ足湯かな 鳥取県 今岡 嗣雄 彼の国の地下シェルターに児らの春 鳥取県 盛田 夕貴
 健やかな寝息に安堵秋深む 小向日葵幼き君に重なりし
 たまゆらの足湯に酔ひし薄紅葉 鳥取県 坂口 茂 静寂の神事で伝う背の汗 鳥取県 西垣 俊一
 遷化せし御霊を誘ふ冬の虹 缶コーヒーワンマン列車に春日かな
 凜としてアンネの薔薇の彩燃ゆる 鳥取県 茗荷 恵子 朝夕の暑さもやつとやわらいで 鳥取県 細谷 慶介
 紫蘇ジュース魔法の色を飲み干しぬ 橙のかぼちゃがのった美味プリン 鳥取県 長谷 早紀

作品集（一般）

- 鳥取に集うシルバー運動会 鳥取県 谷田 侑真 色鳥や飛んで走つてにぎやかに 群馬県 吉井健二
 盆終わり提灯しまう母一人 鳥取県 中村 宏 二十世紀梨楊枝すら厭わしく 埼玉県 宇田川 莉穂
 振り向けば異国の言葉帰省駅 妹の背中にごめん秋の空
 徒歩で来て駆け足で去る夏休み 鳥取県 谷口 貴彦 日除すらプリン of 絵柄純喫茶 新潟市 酒井 春棋
 塾帰り僕を励ますオリオン座 溝浚へ四十年の根の重み
 塩かげん母よりうすく梅漬ける 鳥取県 南部 美津枝 初孫の足まで眠る砂日傘 岐阜県 田中 恭司
 梨美味し母との会話なつかしむ 子どもらに平和を論す彼岸花
 検査室Ⅴの声 梅雨最中 鳥取県 岩家 正子 紅葉燃ゆ今年も夫の誕生日 鳥取県 神谷 正恵
 新涼やカフェカーテンのそよめきに うろこ雲視線の先のさきに幸
 鳥取の二十世紀の梨の山 鳥取県 小橋 知一 秋の夜の赤子と繋ぐ糸電話 熊本県 貴田 雄介
 久々の食卓かこむ梨の音 パラバラと雨雷の子沢山
 花木権絞るがごとく萎みけり 鳥取県 那和 宣子 定休日明けブティックは秋の色 鳥取県 長石 彰
 鳥取の砂丘に笑顔咲き誇れ 群馬県 山田 凌大 取り消せぬ言葉のありて彼岸花
 来客に居留守うなぎは二口目 沖縄県 稲嶺 みゆき ほおばるや煎餅の音夕焼かな 香川県 筒井 国子
 休学の面談やまない秋の雨 まだ先へ飛行機雲や孫の夢
 夏雲を飛べよ飛べ飛べホームラン 愛知県 紅紫 あやめ 墓参りこれが最後と母は言ひ 東京都 原田 伸介
 特急に追い越されゆく揚羽蝶 教会の扉に墨書 冬 茜
 後ろに手組みて桜の夜を歩む 福井県 小林 陸人 父さんの鼻歌バレンタインの日 梶田 祥子
 秋気澄む宮に献句を披露かな ハンドルに迫りくる秋いろは坂
 合氣道受け身二百回は正座 北海道 佐藤 信太 大山を踏んづけてゐる雲の峰 鳥取県 前田 一朗
 通り雨母のミシンと二重奏 息子には2Lの梨送る妻
 幻と言われています猛者えびは 鳥取県 新らくだ 朝寒や苗植え替えしプランター 北海道 佐藤 公
 暑けれどクーラーよりも扇風機 無理だけどもまた叱られたい盆支度 鳥取県 三島 達也
 子を連れて嫁いだ先の墓洗う 富山県 折田 祐美子 ペンと紙君を詠みたい星月夜
 鯛雲みんな並んで走り出す 群馬県 吉井 健二 青春の夜汽車は北へ啄木忌 東京都 野上 卓

作品集（一般）

- 休めとは死者には言はず菊の花 東京都野上卓 始まりは木枯らしの日の美術館 香川県岩本稔
- 山彦が登る砂山汗をかく 東京都若槻泰治 雪深き富士天空の深呼吸 山口県川端祥彦
- 歴史から知るは世紀の梨の味 流れては滝枝垂れては梅のごと
- 遠目にも女の影や代を搔く 神奈川県下村修 炎天や車道を鳥の影の濃く 愛媛県久保田裕之
- 白状に道の開きし聖夜かな 城跡や春日つひばむ鳩のゐて
- 夕焼の漁港にバンドネオンかな 東京都伊勢史朗 立売りの経木の器アイスクリン 滋賀県近江菫花
- ドア開けてピザの出前の息白し 掛け算に躓く七つ時雨月
- 辣蕈の花の眼空を見果てむと 東京都遠藤玲奈 早苗田の葉先の光る夜明けかな 鳥根県稲田忠徳
- 小春日を溜めて放てるカレールウ 白藤のかすかに揺れて空蒼く
- 朝顔のつぼみの包む明日の色 鳥取県沢田美紀 群生のざわりとゆるる竹の春 鳥取県高橋志保子
- 厨へと家族誘ふ秋刀魚の香 すぐと立つ獅子のたてがみ風薫る
- はばたこうねりんピック鳥取で 大阪府中川由恵 秋うらら赤信号を渡る鶏 和歌山県中島紀生
- 無花果や無邪気なる子の残虐性 福岡県佐藤節美 施され拝まれ撮られ寒の行
- 猛暑さへわからぬ母ヘソーダ水 行秋や踏み切り板をひとつ飛び 愛知県松島容子
- どんぐりを一つ手に持つ野生猿 千葉県高橋基 唐揚げの金賞受賞母子草 東京都今田泰史
- 子の結婚コロナも明けし涼新た 梅雨晴や明るい砂を掬う吾子
- 医学部の先輩と踏む冬の砂 静岡県尾内甲太郎 梨の花五弁花語る雄弁に 新潟県伊藤昭彦
- 二十二世紀を思い二十世紀をかじる 梨の花長袖のシャツ散歩道
- 露の朝雲のひかりの見ゆる朝 鳥取県長田遼平 ヨーグルト桑の実ジャムはワインカラー 鳥取県光田澄子
- 遮断機やまはりをめぐる秋の色 日盛りに快音得たりフオアハンド
- 踏み出せば半歩下がる砂丘の秋 神奈川県田中和美 兒も風に倣ひて夏は砂の丘 茨城県岡崎亜佐子
- 秋高し砂丘の尾根の道硬し 有りの實のからき真砂に根付く丘
- 語らいの少ない暮らし秋深し 大阪府草道久幸 月光に未来輝く大砂丘 鳥取県藤原博志
- 春待つやいつまで続く雪おろし 紐帯を解けし末や木守柿
- 籠の蟬そつと妹逃がしけり 香川県岩本稔 子ら帰り独居に戻る冬隣 愛知県石田賢吾

作品集（一般）

磨線の駅舎吹き抜け青嵐 愛知県 石田 賢吾 梨かじる飛沫のごとき深刺さ 大阪府 山野 大輔
ねんりんが人生の秋の幹となり 東京都 石井 秀一 光芒の寒天に立つ伯耆富士 千葉県 安田 清一
檸檬搾る右手に愛が宿るまで 愛媛県 秋 本 哲 湖に出す蜆舟から見ゆ大山
クレヨンが減りの不揃ひ松葉蟹 とう少し朝寝させてよ七日蟬 大阪府 松浦 宣子
終戦日傷痕軍人語る祖母 鳥取県 山本 礼子 ゴキブリより沢がにかかる海の家
八月の空に鈴の音吾子の連 秋涼し吾子に白兔の肌守り 大分県 小野 智輔
地球儀を廻して折る原爆忌 奈良県 浦城 亮祐 落ちてこそ白迸る沙羅の花
京町家痩せたる菊の影法師 死んだ子はみんな綺麗だ梅の花 埼玉県 大野 美波
夏野菜彩良くも高嶺かな 鳥取県 北邑 沙也可 梅の花留守の実家に帰った日
ワンルーム咳の残響硬き音よ 肩に置くものゝけの手や夕涼み 茨城県 岡崎 亜佐子
久松の雑木さやぐ梅鯉庵 鳥取県 平木 道則 有りの實のからき真砂に根付く丘
鷹が舞い溢れる葵梅鯉庵 草笛を吹き較ぶるや丘の上 奈良県 堀ノ内 和夫
遠雷の近づき来たる砂丘かな 広島県 紗 藍 愛 ひまわりは首を傾げる星月夜 鳥取県 阿川 啓太
指圧する母の手熱し蟬しぐれ 今日陽を引き摺り降ろす遠き山
陽の当たる席譲り合い初笑い 京都府 岸野 由夏里 音すべて寝かしつけたり夜光虫 岡山県 岩中 幹夫
一礼の女に宮の秋の風 東京都 木幡 忠文 帰省子を待つ軽トラと無人駅 千葉県 堀 卓
駘蕩と路の陽だまり猫来たり 東京都 太田 智文 縁側で猫と背伸びをして小春
秋蟬の亡き骸を掃く日曜日 健康に運動すること 大事かな 鳥取県 荒尾 多重子
那珂川へ瀬鳴りの支流下り鮎 埼玉県 小田 乃理子
噴煙は大地の太息鳥渡る
大山の牛の牧野に草萌ゆる 千葉県 松田 なごみ
錦秋の池面に映る伯耆富士
おもいきり潮風吸いこむ朝の浜 鳥取県 大坪 香菜
ソーダ水水投げ入れ大騒ぎ
奮い立つ鳥取砂丘の秋の夕 大阪府 山野 大輔

募集句 ジュニア部門（小学生） 優秀賞

じてん車にはじめてのれたなつやすみ

鳥取市立中ノ郷小学校 中村 颯良

にわの草そだててみたらミニトマト

鳥取市立明德小学校 尾方 美咲

おめでとう小学卒業お兄ちゃん

鳥取市立城北小学校 田村 仁

募集句 ジュニア部門（中学生） 優秀賞

蓬すり塗れば治ると祖母の知恵

若桜町立若桜学園 福間 恋色

風涼し母が食器を洗う音

大山町立中山中学校 金平 陵汰

炎天下球をおっかけ優勝へ

湯梨浜町立湯梨浜中学校 音田 将太

募集句 ジュニア部門（高校生） 優秀賞

静寂を裂いて走る矢息白し

鳥取県立鳥取西高等学校 盛田 朋希

真っ直ぐに生きていそいな子の日焼

湯梨浜学園高等学校 岩田 侃大

朝五時半私のアرائم蟬の声

湯梨浜学園高等学校 河野 向日葵

募集句 ジュニア部門（小学生） 入選

初げいこ気合を入れてのぞむんだ 鳥取市立鹿野学園 齋藤 文乃

スイカ割り上手に的に当たるかな 鳥取市立富桑小学校 岸田 莉衣咲

風もんにバツタ3びきみつけたよ 鳥取市立若葉台小学校 藤田 拓音

母さんとアイスクリーム一つずつ 鳥取市立湖山西小学校 佐々木 莉乃

のぼりたいにじの出ているところまで 湯梨浜町立東郷小学校 和田 環希

はっけんがたくさんつまつた夏やすみ 鳥取市立鹿野学園 森岡 眞優

チューリップまつかな赤がめだつちやう 鳥取市立修立小学校 大倉 瑞生

なつまつりしやてきをするがたおれない 鳥取市立修立小学校 かとう あつむ

朝起きて玄関で待つ年賀状 若桜町立若桜学園 大杉 優維

ひまわりと絶対するのはせくらべだ 若桜町立若桜学園 前任 怜

かきごおりいろんなあじのおしゃれさん 若桜町立若桜学園 片山 こはる

風船は空の上へとたびに出る 若桜町立若桜学園 平家 利恵

かかしはね田んぼに一人たっている 若桜町立若桜学園 森 一乃

校庭につぶれたボール夏のくれ 鳥取市立稲葉山小学校 谷口 滉明

落葉がねそうじをしてもむげんだい 鳥取市立城北小学校 藪田 妃桜菜

ぼんおどり町内みんなでわになろう 鳥取市立城北小学校 山澤 杏梨茉

ひまわりが水をもとめておじぎする 鳥取市立中ノ郷小学校 梅實 紗希

風りんが風でゆらゆら歌ってる 鳥取市立中ノ郷小学校 池原 舶斗

クワガタの大きなあごは力もち 鳥取市立中ノ郷小学校 後藤 圭

夏休み遊ぶことよりまず宿題 鳥取市立中ノ郷小学校 高田 妃奈乃

夜の街しゃんしゃん祭りかさの花 鳥取市立中ノ郷小学校 藤本 ちひろ

夜の海イカつり船の光かな 鳥取市立中ノ郷小学校 池田 爽真

夏休み早ね早起ききちんとね 鳥取市立中ノ郷小学校 田邊 杏奈

夏休みあつというまにあと三日 鳥取市立中ノ郷小学校 前根 遥仁

じゃんぶだいいくぞしようぶだなつのかわ 鳥取市立西郷小学校 坂本 岳

夏の夜ひときわめだつ大三角 鳥取市立西郷小学校 櫛谷 はな

流れ星かなうといいな願いごと 鳥取市立湖山西小学校 藤原 あみる

台風で折れたヒマワリまた咲いた 倉吉市立上北条小学校 住山 莉子

僕のだけ作ったトマト赤くなれ 鳥取市立岩倉小学校 永田 琉仁

2さい児の水鉄砲の的わたし 鳥取市立河原第一小学校 渡邊 理月

募集句 ジュニア部門（中学生） 入選

ソーダ水しゅわわわわわ夏の音	日野町立日野学園	外山 希愛
夏の朝風が走れば田は海に	日野町立日野学園	亀崎 真由梨
夏の海水平線が光る夜	大山町立中山中学校	坂本 結愛
ゆきだるま転がしていく小さな手	大山町立中山中学校	末次 倅子
色褪せた写真は五才雛祭	大山町立中山中学校	前田 未来
蝸牛一日たってもまだここに	若桜町立若桜学園	山田 美優
海水浴水着の中は砂地獄	米子市立尚徳中学校	細木 慶十
白球の行方見守る入道雲	米子市立尚徳中学校	藤谷 昇太
七変化色鮮やかな庭のすみ	米子市立尚徳中学校	湯原 彩音
漆黒のキャンバス描く姫ホタル	米子市立尚徳中学校	田中 美怜
昨日までここにいたのに雪だるま	米子市立尚徳中学校	田中 海月
夏の午後化粧とれてる母の顔	米子市立尚徳中学校	樋口 神樂
空色のみつそそがれしかき氷	鳥取市立桜ヶ丘中学校	高橋 彩夏
雪どけのすみっこぐらしダンゴムシ	鳥取市立桜ヶ丘中学校	荻野 平汰
スニーカー一步ふみだす春の土	鳥取市立桜ヶ丘中学校	北浦 克樹
応援が胸に響くよ運動会	鳥取市立桜ヶ丘中学校	小川 穂乃佳
今年もかぼつちで過ごすクリスマス	鳥取市立桜ヶ丘中学校	中村 陽愛
中三や無為の日悔やむ夏の末	鳥取市立桜ヶ丘中学校	田中 沙季
太陽が真上で見てるかき氷	湯梨浜学園中学校	菅 来帆
木の芽見て私もふみだすその一步	湯梨浜学園中学校	黒岩 美月
いちご飴わたあめ射的夏祭り	湯梨浜学園中学校	村中 美咲
雪景色きれいに続くくつのあと	湯梨浜学園中学校	山岡 詩月
新緑の隣のクラスの笑い声	湯梨浜学園中学校	前田 蒼衣
鳥取の梨は絶体日本一	湯梨浜学園中学校	永田 ひより
夕焼けや走る僕らを照らしてる	湯梨浜町立湯梨浜中学校	井西 晃
プリントがひらひら動く扇風機	湯梨浜町立湯梨浜中学校	香川 慧渥
金魚鉢光の中で影踊る	湯梨浜町立湯梨浜中学校	市橋 里実
風鈴が静かに響く午後三時	湯梨浜町立湯梨浜中学校	助谷 玲奈
兄弟を水鉄砲の的にする	湯梨浜町立湯梨浜中学校	山下 悠斗
母の日に思い伝わり母が泣く	湯梨浜町立湯梨浜中学校	前田 遥人

募集句 ジュニア部門（高校生） 入選

渋滞の花火大会あと五分	湯梨浜学園高等学校	米原 瑠都
カーナビが県境告げる夏休み		
片陰をつないで歩く通学路	鳥取県立鳥取西高等学校	盛田 朋希
夏の果重いリュックの成績表	湯梨浜学園高等学校	渡邊 紘子
仰ぐ目に入道雲の大家族	湯梨浜学園高等学校	黒岩 芽生
星涼し日本海の磯香る	湯梨浜学園高等学校	小木 菜月
日の盛海色輝く港町	湯梨浜学園高等学校	柴田 敦也
虫歌い眠り誘う星月夜		
雨の日は布団にこもり石になる	湯梨浜学園高等学校	田中 愛莉
暑い昼次の影までもう少し	湯梨浜学園高等学校	森本 隆一
夏休み机や椅子も休暇中	湯梨浜学園高等学校	遠藤 礼都
暑い夏子供も草も成長期		
笛が鳴り襟で目を拭くラガー等	湯梨浜学園高等学校	八島 由佑
葉桜の下で笑うも泣くもよし	湯梨浜学園高等学校	常盤 澤維
葬送の灯籠流し振る右手	湯梨浜学園高等学校	菅 帆来
鬼灯や昔集めた指人形		
夕暮れ時赤く染まった春の川	湯梨浜学園高等学校	山根 亜衣來
落ち葉踏み歩く夜道は帰り道	湯梨浜学園高等学校	伊藤 ひより
立ち向かえ入道雲の白いかべ		
夏雲の高さや模試で怒られて	湯梨浜学園高等学校	岩田 侃大
あれはバラ歩き回った母の庭	湯梨浜学園高等学校	近藤 寧々
真つすぐに家に帰ってかきごおり	湯梨浜学園高等学校	小谷 瑠
寒いねと呟く君の息白し	湯梨浜学園高等学校	宮本 虎侍
自動ドア涼しさだけを閉じ込める	大阪府立八尾高等学校	間部 賢杜
一夏を越えて大人になりけり		
悲壮感えんぴつ削る夏休み	鳥取大学附属特別支援学校 (高等学校部)	中井 至恩
受験生えんぴつ削る夏休み		
夏めくや隣家に並ぶゴム草履	東京都・共立女子高等学校	川嶋 里佳
犀星の虫姫日記ちちる鳴く	北海道・クラーク記念国際 高等学校	横溝 惺哉
タブレット見せて呼び込む文化祭		

梅を見たぼつぼつと少しだけ	鹿野学園	齋藤	文乃	のき下で風りんがなるきもちいい	湖山西小	佐々木	莉乃
あさがおがにっこりさいた雨が	鹿野学園	森岡	知春	ドローンの夕やけ小やけいけのそば	東郷小	和田	環希
虫の夜光の中でえんそう金	湖山西小	上田	ほのか	おまつりできんぎょすくえてうれいいな	世紀小	徳持	寿樹
夏休み漢字ドリルはまだ三回	岩倉小	谷口	様汰	はじめてのライフジャケットおぼれたよ	世紀小	徳持	陽樹
あさおきてラジオたいそうで目がさめる	静風小	岸	和央	ひすいはね伝説なんだよ見つからない	城北小	ガントックス	ガリテ
あまがえるしゃんしゃんまつり雨をまつ	城北小	田上	伶奈	ヒマワリの開花と光てりつける	岩倉小	山根	芽依
大にぎわいさくらがさいたふくる川	美保南小	太田	はる樹	太陽が車に当たり反射する	岩倉小	山根	芽依
なつやすみぶるにはなびにたのしいな	美保南小	太田	はる樹	ひまわりだきらきらきれいあかるいな	岩倉小	山根	芽依
砂浜のパーベキューは楽しいな	美保南小	太田	はる樹	花火だねきれいはんばんいいおとだ	岩倉小	山根	芽依
すなはまだかいですよはたのしいな	美保南小	太田	はる樹	いもうととせみをさがすよあせだらけ	岩倉小	山根	芽依
にちようびはなびたいかいいくんだよ	岩倉小	山澤	和樹	川あそび夏のはじまりしゅっぱつだ	岩倉小	山根	芽依
木のちかくみんななくよせみのこえ	中ノ郷小	みやわき	たくみ	夏休み海に行ったら貝みつけ	岩倉小	山根	芽依
風鈴がなるときいつか考えよう	中ノ郷小	みやわき	たくみ	あつ日はみんなでそうめんとりあいだ	岩倉小	山根	芽依
雨ふる日春つげ鳥がなっている	湖南学園	足立	洋子	ひまわりが太陽めざし青ってる	岩倉小	山根	芽依
夏の日ひまわり天をむいている	湖南学園	足立	洋子	思い出が私の心ふるわせる	岩倉小	山根	芽依
はるがきてきれいなさくらをみてみよう	鳥大附属小	藤	有菜	大みそ日としもかんしゃありがとう	岩倉小	山根	芽依
せみの声いつでも聞ける分身だ	鳥大附属小	藤	有菜	さむい日に家から出たら雪げしき	岩倉小	山根	芽依
七夕のゆめかなうのは未来かな	宮ノ下小	金田	晃基	花火はねみんなで見るとよりきれい	岩倉小	山根	芽依
夏休み海に行ったらカニがいた	宮ノ下小	清水	智貴	夏休みソフトクリームびつたりだ	岩倉小	山根	芽依
母の日にたくさん買ってプレゼント	宮ノ下小	清水	智貴	ミニトマトできたはいいがぼくにがて	岩倉小	山根	芽依
夏休み海をつつみし入道雲	明徳小	尾方	美咲	一面にヒマワリ畑きれいだな	岩倉小	山根	芽依
夏祭りしゃんしゃん飾り響く	富桑小	岸田	莉衣咲	探検で満奇洞すずしい気もちいいな	岩倉小	山根	芽依
ゆうやけがともきれいだよこのきせつ	鳥大附属小	いかだつ	まこ	夏の夜光かがやく星と空	岩倉小	山根	芽依
日が暮れてほたるがりしに外へ行く	面影小	安部	ひなた	いもうとがじてん車のれてよかつたな	岩倉小	山根	芽依
おりひめとひこ星わたる天の川	面影小	安部	ひなた	浴衣着ていっしょに歩く君の横	岩倉小	山根	芽依
春がきた風がそよそよ気もちいね	面影小	安部	ひより	浴衣着ていっしょに歩く君の横	岩倉小	山根	芽依
夏の夜夜空がきれいだまた見たい	美保小	齋藤	真惟子	手をつなぎ浴衣姿で歩きだす	岩倉小	山根	芽依
家族とね夏休みにねやき肉屋	美保小	齋藤	真惟子	浴衣着て夜空に浮かぶ星を見る	岩倉小	山根	芽依
夏休みがりがり君を食べようね	鹿野学園	長谷川	琉維	一年生かばんをしょって入学や	岩倉小	山根	芽依
ぼくたちのみらいまらうちからあわせて	鹿野学園	長谷川	琉維	水遊び服にかかかってやりかえす	岩倉小	山根	芽依
ぼくのまちしぜんがいつばいたいせつに	鹿野学園	長谷川	琉維	お年玉今年は何円わくわくだ	岩倉小	山根	芽依
スイカ割り割れて嬉しい皿待期	美保南小	田中	晴空	あじさいは水に打たれてかがやいた	岩倉小	山根	芽依
夏風邪を引いて苦しい僕の腹	美保南小	田中	晴空	若葉出るぼくと一緒に生きていく	岩倉小	山根	芽依
水遊び水のかけ合い楽しいな	日野学園	加藤	瞳	音聞こえ打ち上げ花火見に行こう	岩倉小	山根	芽依
花火さく心にひびくたいこのね	日野学園	細田	海晴	音聞こえ打ち上げ花火見に行こう	岩倉小	山根	芽依
夏休み金魚がすくえて超ハッピー	日野学園	遠藤	直也	あざやかに輝く花火見上げる	岩倉小	山根	芽依
根雨祭たこやきうまくてなつかしい	日野学園	宮崎	幹	花火飛びこわれて消えた高く飛び	岩倉小	山根	芽依
桜舞う春の歌姫ホトトギス	日野学園	三好	笑夢	ひまわりが向いて輝く太陽に	岩倉小	山根	芽依
暑い夜蛙の合唱夏が来た	日野学園	来海	孝俊	夜空の下一面に映くひまわりよ	岩倉小	山根	芽依
水あそび虹かかる空きれいだな	日野学園	池平	絆佳	青空とのびるたいよう夏のもと	岩倉小	山根	芽依
ハンモックゆらゆらりとすずしいな	日野学園	世垣	力	家族でねなべをかこむと最高だ	岩倉小	山根	芽依
夏休み冷たいアイスにかぶりつく	日野学園	池座	直葉	夏の日はたくさんさくよひまわりが	岩倉小	山根	芽依
梅雨になり木々の緑が増えてゆく	日野学園	長谷部	直生	高く飛べ天でかがやく花火玉	岩倉小	山根	芽依
蝉鳴いてま夏に食べるかき氷	日野学園	榎尾	香那	ひまわりは黄色に青ちたから箱	岩倉小	山根	芽依
夜の中やさしく照らすホタルたち	日野学園	松本	瑛太	あざやかに花火が散って花の声	岩倉小	山根	芽依
あさがおがさいたよさいたきれいだね	城北小	浦上	暹翔	今に散る空に散る花火火さん	岩倉小	山根	芽依
砂の坂ハマビルガオが休んでる	若葉台小	藤田	拓音	スペシャルのカラーの色見て大花火	岩倉小	山根	芽依
こいのぼり空の果てまで旅に出る	若葉台小	藤田	拓音	七夕だ二つや五つ願い書く	岩倉小	山根	芽依
すきま風開けたしゅんかんしのびこむ	岩倉小	山澤	十和子	雷がふり返り一面真っ白だ	岩倉小	山根	芽依

ひまわりは太陽向いて咲くんだね	若狭学園	原田	こまき	ひまわりの近くでせみが鳴いている	城北小	声田	環香
初雪がちらちらふって積もったよ	若狭学園	平口	穂子	こようのきれいな道を歩いてく	城北小	細川	宗一郎
しもばしらふんだらバリバリいい音だ	若狭学園	松本	憲宏	あせがでるこおり食べたら北極だ	城北小	川島	響起
久しぶり三年ぶりの花火だよ	若狭学園	松本	智子	たのしみだ花火があがる十五日	城北小	川島	響起
遠足はみんなで行こうこうしんだ	若狭学園	吉田	琴葉	冬終わり春が始りさくらさく	城北小	川島	響起
ひまわりが太陽あびてかがやくよ	若狭学園	尾崎	心優	熱すぎてエアコンすごく使ってる	城北小	清水	秀人
あまがえるびよんと元気にはねている	若狭学園	川上	翔空	夏休みプールに行って楽しいな	城北小	清水	秀人
夜のにわすずむしたちのステージだ	若狭学園	福井	柚樹	夏休み花火をしよう楽しいな	城北小	大山	愛依
森の中若葉が顔をつき出した	若狭学園	藤原	晴太	夏風が吹いても消えぬ夜花火	城北小	大山	愛依
かかしはね田んぼでしゃきっとみまもり隊	若狭学園	村尾	勇真	夏の川キラキラ光る流れ星	城北小	廣岡	彰乃
つくしんぼかわいいうしかなぶってる	若狭学園	森岡	三歩	夏の旅楽しすぎるが暑すぎる	城北小	廣岡	彰乃
つくしがねぐんぐんのびてがんばるぞ	若狭学園	山根	壮真	かき氷ひさびさに食べ笑顔でる	城北小	洋谷	一綺
雨蛙みんなをあつめがっしょうだ	若狭学園	山本	圭悟	青春今楽しめよおれは言う	城北小	洋谷	一綺
車もちは車でできてるお楽しみ	若狭学園	山本	大喜	雪ふる夜最後のばんさん楽しもう	城北小	洋谷	一綺
ざくざくとおちばをふんださんぼ道	啓成小	棟	こうたろう	あせばたり青空の白いいうず	城北小	谷村	貢太
ドンドンと花火きらきらひろがった	若狭台小	宮本	梨央	夏祭りしぶきをあげた金魚すくい	城北小	坪井	響生
我が夏と共にすぎさる入道雲	稲葉山小	谷口	凜明	ひまわりは太陽向かってのびていく	城北小	坪井	響生
汗流れ木をけりぼとり宝探し	城北小	竹森	咲葵	紅葉でもみじの葉っぱ星みたい	城北小	山下	乃愛
まだ眠い布団か朝顔悩む朝	城北小	山田	航雅	海の音波がきらきらかがやくな	城北小	森本	結
二重虹いいことあるかなまち人に	城北小	西根	暖人	雪つもり一面真っ白きれいだな	城北小	谷本	勤太
夏休み楽しさえがくもあと三日	城北小	丸山	知紗	花たちをあなたたかい風がゆらしてる	城北小	市場	彩衣星
久しぶり満開花火夢の中	城北小	田中	大聖	夏が来たあそびつくしてへとへとだ	城北小	市場	彩衣星
雪の日に急いで走る下校道	城北小	丸山	知紗	雪がふるとんどんつもるたいへんだ	城北小	市場	彩衣星
卒業生の後ろで見守る桜の木	城北小	丸山	知紗	春がきた入学式の季節だな	城北小	市場	彩衣星
夏休み宿題いやだでもしなきや	城北小	丸山	知紗	秋の夜飾虫たちのえんそう金	城北小	市場	彩衣星
木にもみじさいていって次は散る	城北小	丸山	知紗	足焼ける夏の砂はま鉄板だ	城北小	市場	彩衣星
子どもらの笑顔あふれる夏の海	城北小	丸山	知紗	きれいだなホテルが光る夜の川	城北小	市場	彩衣星
桜まつりのランドセル年長児	城北小	丸山	知紗	夏休み市みんプールでたのしいな	城北小	市場	彩衣星
時間ない宿題いっぱい夏休み	城北小	丸山	知紗	夏がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
暑過ぎるアイスクリーム食べ過ぎる	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
コロナ明けやっときました夏祭り	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
かき氷ピカピカがやくレインボー	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
食べたいなほくほくおいしい焼きいもが	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
雪遊びみんなで作るう雪だるま	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
あゆまつりいかやきくわえ花火みる	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
校庭で友とつくった雪だるま	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
手ふるえせんこう花火すぐおちる	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
冬の夜校庭真ん中ならぶかけ	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
雪がふる兄と父とで雪がっせん	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
おはあちゃんに袖をもらったうれしいな	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
いなし雪そらがきれいだひとつずつ	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
初雪はまだかまだかと空を見る	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
お正月いこと仲良く遊ぶんだ	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
スキーだよすべるの大好き楽しいな	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
夕やけや海のかなたに飛ぶ魚	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
打ち上げてちりちり消えてく夏休み	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
暑参りに先祖様にご挨拶	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
海水浴波にゆられてくらげ気分	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
夏になり暑い一日やってきた	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星
雪だるま雪になつたらとけてゆく	城北小	丸山	知紗	春がきた海でワイワイ楽しいな	城北小	市場	彩衣星

夏至の夜蜜が輝く風物詩	城北小	北川	漢真	なつやすみこうさくづくりたのしいな	中ノ郷小	さかもと	みゆな
雨がふり葉っぱにあたり演奏会	城北小	倉元	麻衣	なつやすみれおまわーるどたのしいな	中ノ郷小	さとう	たくみ
みんみんとセミのなき声きこえるよ	城北小	小林	輝	なつまつりはながきれいとおおきいな	中ノ郷小	たなか	ことは
春の桜淡い桜色の花びら	城北小	佐々木	健吾	どよよいちかきこおりはおいしいな	中ノ郷小	まつむら	はる
ひまわりが太陽向いてこんにちは	城北小	清水	岳	なつやすみきんいろはなびきれいだな	中ノ郷小	むらかみ	げんた
寒い山とてもきれいな銀世界	城北小	田中	陽向	なつやすみうみにいったよめたいな	中ノ郷小	やまもと	ゆう
たくさんの打ち上げ花火きれいだな	城北小	寺西	惟智	なつやすみあくあすいつてたのしいな	中ノ郷小	やまもと	りんたろう
日が暮れて鈴虫が鳴く夜の里	城北小	中尾	愛	すいかわりのしいようみもいったよ	中ノ郷小	あんどう	とうま
ふうりんがチリンとなると気持ちいい	城北小	西澤	篤志	たのしいなかぞくであそぶたのしい	中ノ郷小	いけもと	ひより
楽しみにサントラ待つほくねむれない	城北小	橋中	颯佑	かぞくでねうみにいったよたのしかつた	中ノ郷小	いのうえ	とき
うみはすきゆらゆらうきわきもいちよ	城北小	平野	希衣	すいかわりうみでやつたらたのしいな	中ノ郷小	うめざね	ゆうた
夏休み最初は長いけどおわる	城北小	福田	若佳菜	なつやすみたのしかつたようれしいよ	中ノ郷小	おくだ	ゆうた
暑い夏試合があつて大変だ	城北小	宗元	莉愛	かぞくでねほてるにいつてたのしくね	中ノ郷小	かつはら	ゆう
夏休みプールと海はさいこうだ	城北小	森脇	杏南	ひまわりはきいろいはなよたのしいよ	中ノ郷小	かわかみ	こうせい
夏の夜空とみなもに花がさく	城北小	山口	桃子	なつやすみすいかをたべてひとやすみ	中ノ郷小	かわもと	りこ
あたたかい桜の木々がきれいだな	城北小	湯口	朋輝	とろふいーびかびかきれいもりたい	中ノ郷小	しらいわ	ゆいせい
雪だるま雪でつくられとうじようだ	城北小	吉田	涼香	すいかわりわるとたべれるおいしいよ	中ノ郷小	なかはら	そうひ
夏休みあつというまの一月月	城北小	杉浦	颯太	なつやすみいぬのさんぽをしました	中ノ郷小	のざき	あやか
カヌーこぎパドルをおいてダムの上	浦安小	福中	蓮土	なつやすみたのしくすうれしいな	中ノ郷小	ほしみ	たいち
目をこすり日差しまぶしい朝が来た	浦安小	東	詩珠	なつやすみきのうのきのおぼあちゃん	中ノ郷小	みねぐち	りお
白ほうちやくそば食べて花火見る	浦安小	東	詩珠	うみにいったよみすがつめたいよね	中ノ郷小	みやざき	よう
船上カヌーにのってゆうらゆら	浦安小	東	詩珠	なつやすみいっぱいあそべるうれしいよ	中ノ郷小	やまもと	ともえ
こおろぎがきれいな声でうたってる	町ヶ浜小	中山	蒼翔	あきのとき赤とんぼがとびまわる	中ノ郷小	赤松	優斗
宿題のおわり見えない夏休み	町ヶ浜小	月森	奏斗	あついなつみんななくよせみのこえ	中ノ郷小	磯江	りほ
夏休み宿題おわらず大あわて	町ヶ浜小	森岡	萌衣	なつやすみせみがみんみんうるさいな	中ノ郷小	氏家	望愛
夕がたも外出てみたら汗だくだ	町ヶ浜小	野崎	温菜	とんぼいるたくさんとぶよっぱいだ	中ノ郷小	岸本	那風
あきのかに足をさされるじゅぎょうちゅう	町ヶ浜小	野崎	温菜	木の上でせみがないていてうるさい	中ノ郷小	木下	蓮
学校から帰るときにも虫の声	町ヶ浜小	川田	さえ	なつやすみたのしかつたわパーベキュー	中ノ郷小	小谷	蓮都
いねかりだ上手く動かせコンパイン	町ヶ浜小	紙本	彩叶	なつ休み花びたいかいたのしいな	中ノ郷小	高田	桃奈
こおろぎがおこしにくるよ真夜中に	町ヶ浜小	井上	結愛	なつやすみとてもあついなもうだめだ	中ノ郷小	藤田	桃夏
金色に輝やくいねがきれいだな	町ヶ浜小	井上	結愛	なつやすみともあついなもうだめだ	中ノ郷小	藤本	崇人
山あるきせみのえんそうにぎやかだ	町ヶ浜小	勝部	莉風	ふゆはねえゆきがつせんがたのしいよ	中ノ郷小	松島	ゆつき
いい日だねかぞくと食べたかきこおり	町ヶ浜小	勝部	莉風	なつやすみプールでおよくたのしいな	中ノ郷小	宮脇	拓未
にこにこでいとこと花火楽しいな	町ヶ浜小	平川	結乃春	かきこおりみんなであつてまたかえる	中ノ郷小	村中	美介
最近はおまり聞かないセミの声	町ヶ浜小	松本	賢和	アイスすきいちばんすきなのはアイス	中ノ郷小	山根	望結
きれいだな川に流れるもみじの葉	町ヶ浜小	二宮	快斗	なつやすみせみのなきこえうるさいな	中ノ郷小	吉田	拓未
夏休み勉強なんてしたくない	町ヶ浜小	二宮	快斗	ねるときはねるとこあつくてねれない	中ノ郷小	吉田	亮介
ふるあがりせんぶう機からはなれない	町ヶ浜小	津田	真心	なつのよるはなびきれいだ夏休み	中ノ郷小	小山	叶翔
夜空には花火のカートンまぶしいな	町ヶ浜小	津田	真心	おかあさんこほんおいしかったなつのよる	中ノ郷小	竹中	夕葵
えんがわに風鈴一つ静かな音	町ヶ浜小	森上	華	なつやすみアイスクリームおいしいな	中ノ郷小	竹中	夕葵
帰り道とんぼのむれきをおいかけ	町ヶ浜小	森上	華	水あそびおふるの水も気もちいいな	中ノ郷小	西根	和花
友達をさそつて花火うれしいな	中ノ郷小	いまくら	すず	なつやすみ金魚をかつたようれしいな	中ノ郷小	山岡	虎鉄
なつやすみながれるぶーるたのしいな	中ノ郷小	いねなか	しょうや	なつやすみえさをあげたらすねられた	中ノ郷小	山岡	虎鉄
あさがおがたくさんさいてきれいだな	中ノ郷小	かに	じゆんた	夏休みアイスクリームつめたいな	中ノ郷小	山岡	虎鉄
なつやすみぼうでたいたてすいかわり	中ノ郷小	きたむら	さくら	夏休みアイスクリュームつめたいな	中ノ郷小	山岡	虎鉄
なつやすみほてるにとまつたのしいな	中ノ郷小	きのした	ひろと	ホームランいっぱいうつぞまきしゆうご	中ノ郷小	鹿兒	嶋玄
なつやすみはなびをみたよきれいだな	中ノ郷小	けんじょう	あやと	マイクラでみんなとあそんでたのしいな	中ノ郷小	近藤	蓮
なつやすみおおきなたきがきれいだな	中ノ郷小	ごとう	さや	ポケモンはみんなが大きい人気だな	中ノ郷小	近藤	蓮

つめたいなアイスクリームなつやすみ	中ノ郷小	田邊 尊	朝は海まだまだ元気午後は川	中ノ郷小	宮崎 紗羽
かぶとむしつかまえたよせわしたよ	中ノ郷小	磯江 叶	ふるあがりアイスかスイカまよう夏	中ノ郷小	中村 百花
夏やすみ海にいったらくらげいた	中ノ郷小	山口 葵	夏の曇きれいな空にうかんてる	中ノ郷小	宮脇 美祐
なつだなあたのしかつたよかいすいよく	中ノ郷小	福島 旭	しんせきですいかを食べるおいしいな	中ノ郷小	勝原 菜優
なつやすみつめたいそうめんたべたいな	中ノ郷小	福島 旭	すぐ終わる夏休みみたいだ鎌こう花火	中ノ郷小	池本 心春
なつやすみ海つめたいよたのしいな	中ノ郷小	畑村 瑞希	かき氷シロップかけておいしいな	中ノ郷小	池田 悠希
なつやすみプールかきこおりのしんだ	中ノ郷小	畑村 瑞希	夏のはよい赤い空に空そまるころ	中ノ郷小	池田 瑞樹
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	あさはやくたいそうしても目はあかず	中ノ郷小	石田 瑞貴
なつやすみプールかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	行きたいなはなびたいかいあつすぎる	中ノ郷小	磯江 遥
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夕立の過ぎさり空のあおきこと	中ノ郷小	磯江 遥
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	ひまわりと太陽しようぶ明るさで	中ノ郷小	磯江 遥
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休みクーラーつけてゴロゴロだ	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休み旅行に行つて楽しんだ	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏になるとツナが食べたいなんつって	中ノ郷小	神谷 咲登
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休みみうみかプールかまようなあ	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	卓球で暑さわすれる三時間	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	海に行くきらきらなみがあがつてる	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	梅雨にはねたくさん雨がふるんだよ	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	バケツイねおちやわんいっばいできる	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	川遊び元気楽しく遊ぼうか	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休みしゃんしゃんを楽しもう	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	ゆだんした足み下ろすと虫さされ	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休みたおれる人が多いよね	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休み台風きたよこわすぎた	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	あかない目ラジオ体操効果的	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	海に行き入ったけれど暑かった	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	暑すぎる夏の運動あせ光る	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	春風の冷たいときの帰り道	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休み風りんの音ひびいてる	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夕だちでかわいたタオル母なみだ	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	今年はねししゃんしゃん祭り楽しんだ	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	すいか食べクーラーつけてかいてきた	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休み海水浴に行きたいな	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休みプール入っていい気持ち	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	たおれそう真夏の暑さやばすぎる	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休み暑すぎるよなプール行こう	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	かぶと虫つのがピカッと輝いている	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	推しは赤走る夏の日アニメイト	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	空見ると入道雲が目を満たす	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	しゃんしゃんとかさまで踊る夏休み	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏野菜野菜の花が自然だな	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏の夜せんこうのおいなかしい	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	真夜中に見上げる花火まばゆいな	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏休み宿題の山終わらない	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	夏の朝目覚ましになるせみの声	中ノ郷小	小幡 陽太
なつやすみかきこおりのしんだ	中ノ郷小	左野 陽大	かき氷とけてなくなる季節かな	中ノ郷小	小幡 陽太

夏休みかがぶんぶんとうとうとしい	中ノ郷小	中澤	将吾	夏の空みあげていたら夢の中	西郷小	榎谷	はな
あじさいが青やむらさきにいろづいた	中ノ郷小	佐尾	若菜	台風で庭が水ぼつ土のう積み	西郷小	前田	統輝
とまってるきゆうにとんだあぶらゼミ	中ノ郷小	倉谷	琉生	夏休み宿題終わらず大苦戦	西郷小	露木	幸花
大合唱ゲコゲコとなくあまがえる	中ノ郷小	青木	特紗	夏の空あそこにあつた三角形	西郷小	森木	幸花
夏休み宿題の山終わらない	中ノ郷小	中原	穂花	赤ひいたほとけと見上げるベルセウス	西郷小	漆原	悠翔
夏祭り楽しさいっぱい笑顔さく	中ノ郷小	石田	ちなつ	夏の夕花火をあけて楽しもう	西郷小	漆原	悠翔
そうめんも一度はすべったスライダー	中ノ郷小	石田	茂市	カブト虫ライバルどうして戦いだ	西郷小	谷口	歩積
鳥商をあせかき応えん甲子園	中ノ郷小	米山	芯	夏の朝つめたい風がきもちいな	西郷小	谷口	歩積
夏休みいつも晴れててありがたい	中ノ郷小	河崎	司真	川遊び魚がいるけどつかめない	西郷小	高田	駿
なつよるいろあざやかなはなひらく	中ノ郷小	細田	うた	まよ中でせんこう花火楽しいよ	西郷小	高田	駿
夏休みわたしがし食べてくもみたい	中ノ郷小	鎌田	めい	空高くゆらゆらゆるるこいのぼり	西郷小	矢野	瑛
かさの花町中にひびくすずの音	中ノ郷小	坪田	祥佳	せん風機とんでくるのは熱風だ	西郷小	矢野	瑛
夏休み宿題たくさんたいへんだ	中ノ郷小	大島	みなみ	くりご飯食べてる口がとまらない	西郷小	竹内	梨愛奈
夏の木に大きなハサミ黒光り	中ノ郷小	本村	柚果	桜さき花がひらひらまだまつて	西郷小	竹内	梨愛奈
夕ぐれに川辺とびかう赤とんぼ	中ノ郷小	下浦	結衣	春日和やつとはれたよおだやかだ	西郷小	松村	乃音
ふうりんの音ひびくのは夏のくれ	中ノ郷小	山田	茜	黄色の木真つ赤にそめる紅葉へと	西郷小	松村	乃音
夏休みあっというまに八月だ	中ノ郷小	石原	康汰	一日中働く太陽休ませて	西郷小	松村	乃音
五月雨で外出できずパラパラと	中ノ郷小	藤松	陸人	久しぶりえ顔はじけるのうりよう祭	西郷小	坂本	快斗
夏の朝銅い犬ほえて目がさめる	中ノ郷小	小林	聖明	きりんじし朝日とともに表ぶ台	西郷小	坂本	快斗
いて滝の 月光の 凍りたる	中ノ郷小	山根	花士	朝早く川をめぐってさあいこう	西郷小	藤原	和心
ふうりんがかぜにふかれてないている	中ノ郷小	吉田	奈央	夏休み川に行ったら人だかり	西郷小	藤原	和心
夏休みおぼんにかえるおじいちゃん	中ノ郷小	大隅	陽菜	夏休み思い出多くすぐにかえる	西郷小	佐々木	陽紀
日焼けあと夏の思い出いっぱいだ	中ノ郷小	河井	嵐太	日がしずみほたるみちびく帰り道	西郷小	佐々木	陽紀
夏休み八月終わり秋になる	中ノ郷小	小林	遥輝	鳥取の夕暮れかんじるかさ祭り	西郷小	坂本	悠斗
夏暑いぜんぶの生き物暑そうだ	中ノ郷小	伊輪	舟真	チャイムなりなみだがれて桜まう	西郷小	原	愛実
夏祭り外で遊ぶの楽しいいな	中ノ郷小	河崎	拓真	熱帯魚うらやましいいなその尾ビレ	西郷小	原	愛実
夏休みいつも晴れてて気持ちいい	中ノ郷小	河崎	陽真	粉雪が夜の山に降りそそぐ	西郷小	原	愛実
夏休みせみがみんみん鳴いている	中ノ郷小	坂本	愛	真つ黄色小さな太陽ひまわりや	西郷小	森田	桃杏
夏休み地こくの宿題きつすぎる	中ノ郷小	工藤	未斗	夜十時せみとかえるで大合唱	西郷小	森田	桃杏
暑すぎて外に出れない夏休み	中ノ郷小	吉田	蒼	クーラーで冷えた部屋から出られない	西郷小	豊岐	真波
あさがおがたくさんさいてきれいだな	中ノ郷小	種仲	翔哉	温暖化すいみん不足熱帯夜	西郷小	豊岐	真波
あさがおのはっぱさわるとさらさらだ	中ノ郷小	中村	風良	暗闇にうかぶ一帯天の川	西郷小	田中	那生
でプールのじゅぎょうがんばるぞ	中ノ郷小	氏家	菜保	朝の山きりがかかってかくれんぼ	西郷小	田中	那生
夏休みりょこうにいくよたのしみだ	中ノ郷小	日比	維吹	夏の空ふと気付いたら秋の空	江山学園	中村	聡希
窓開けてセミの鳴き声暑さ増し	中ノ郷小	日比	維吹	夏最後生園祭で締めくくり	江山学園	中村	聡希
宿題の後の楽しみ海サツプ	中ノ郷小	村上	ふう花	夏祭りさるきみの背を追いかける	城北小	安木	唯翔
夏祭りみんながきたよもりあがる	中ノ郷小	村上	ふう花	せんこうのにおいに思うおじいちゃん	城北小	安木	唯翔
夏休み花火を見たようつくしい	西郷小	前田	悠人	かわいいなくりをさわってアイタタタ	湖山西小	藤原	あみる
かぜかおるつきよにかがかわはらじょう	西郷小	前田	悠人	きもだめしきみの番だよこわいぼく	浦安小	岡田	凌空
なつやすみじいじといたえいがかん	西郷小	坂本	岳	登山して頂上ついたら虫だらけ	浦安小	岡田	凌空
なつやすみてきとうにすこすれさいこう	西郷小	坂本	岳	いねのほがあげにすれすれ畫作だ	上北条小	住山	莉子
なつよるおぼけがくるけどどうしよう	西郷小	榎谷	匠	ほんきせいばあばのりよりもりだくさん	湖山西小	山根	隼人
せんぶうきかぜがつよすぎふつとんだ	西郷小	谷口	健太	夏休みそうめんたべてまたそうめん	湖山西小	山根	隼人
なつのくさくさとりできないあつすぎて	西郷小	谷口	健太	夏が来たひまわり見ると元氣出る	城北小	石塚	莉乃
夏休みいろいろな音が楽しそう	西郷小	谷口	楷	冷たいなやっぱり夏はかき水	城北小	石塚	莉乃
夏の雲ふわふわしておいしそう	西郷小	高橋	一色	もみじたち赤色黄色グラデーション	城北小	中尾	祐人
みんみんとせみがいないるなつのこえ	西郷小	山田	悠太	サツカーで願中ながれるたきのあせ	城北小	中尾	祐人
ひまわりはたいようむいてまぶしそう	西郷小	木下	慎一朗	水でつぼう川水つめたたい大はしやぎ	美保小	岡森	圭史郎
夏の山かぶと虫がいったばいだ	西郷小	藤原	蒼翔	雨窓いの踊る最中は晴れもとむ	美保小	青野	新
夏まつり花火がきれいでびっくりだ	西郷小	森田	華永	青い空入道雲は大きいな	浜村小	中田	享佐

カブトムシ大きなツノはかっこいい	日進小	長谷	真歩
花火はねそとでうちあげきれいだよ			
スイカわりはじめてしたよたのしいな	河原第一小	渡邊	理月
スイカ買ひ冷蔵スペース占領中			
シャボン玉虹色にひかり消えていく	湖山西小	今井	千曉
天の川織姫彦星つなぐ星	湖山西小	薄井	陽映
七夕だおり姫ひこ星会えるかな			
夏休みみんなワクワク鳥取へ	津ノ井小	山本	悠美
スイカ割り家族みんなで夏の海			
赤々とぼくの畑にミニトマト	米里小	松田	滝登
ぼく逃げるクラゲが泳ぐ夏の海			
蚊がいつぱい家族でぼくだけ人気者	河原第一小	渡邊	陽斗
あつい外スポーツしたらあせだらけ			
海の上輝くしぶき透き通る	湖山西小	山岡	唯
風鈴の孤独に響く夏の歌			

栗の丸満月みたいな美しさ	南	中野	藤芽	珠	遊んでる犬を抱える冬の夜	中山中	松田	愛翔
夜空にはおつきみみたい多い星	日野学園	松本	瑛太	祖父母会う三年ぶりの春の青	中山中	三和	凌輝	
あつぎてクラーつけてゲームする	日野学園	高橋	楓	グラウンド賑わあびた夏の朝	奥大山江府	山本	愛海	
熱帯夜窓から見える天の川	日野学園	渡岡	ささら	夏空に重なり輝く友の顔	奥大山江府	沢山	凛	
日ざし浴びトマトも私もまっかつか	日野学園	頭本	帆花	いがぐりを踏んで尻もち落葉の音	奥大山江府	遠藤	佑花	
風呂の前姉に重なる幽霊か	日野学園	柴田	理蒼	七輪でもみじと一緒にさんま焼き	奥大山江府	水戸	奈那	
夏祭り夜空にきれいな花がさく	日野学園	山田	愛実	つばめ鳴く美しい季節やって来た	奥大山江府	林	龍輝	
夏の朝起きると毎日汗ぐっしょり	日野学園	頭本	樹	つばめ飛ぶ二羽で楽しい青い空	奥大山江府	宇田	由梨	
夏休み宿題というゆううれいが	日野学園	伊田	蒼介	大空につばめ飛んでるかわいいな	奥大山江府	川上	星愛	
メダカかい大きくなったらエサにする	日野学園	池平	龍樹	嫌々と空飛び回るつばめかな	奥大山江府	吉田	紗影	
両蛙ボスターカラー塗りたてか	日野学園	青戸	優希	来たち餌はまだかと騒ぎ出す	奥大山江府	川上	星愛	
壁のすみアリの行列どこまでも	日野学園	西村	弦馬	春の風つばめと共に吹いている	奥大山江府	川上	星愛	
あまがえる夜の合鳴ねむれない	日野学園	小川	草弥	アイスとけ地面に落ちた今日この頃	奥大山江府	上代	彩乃	
想い人一緒に回る夏祭り	日野学園	奥田	咲輝	桜咲き春の季節がやってきた	若狭学園	伊原	隆	
サンダルが飛んで行っても走る朝	日野学園	田中	颯磨	梨の花何も染まらず白く咲く	若狭学園	大久保	朱生	
浴衣着て屋合を巡る夏祭り	日野学園	柴田	彩楓	部活後のアイスは明日のエネルギー	若狭学園	津村	桃汰	
夏の蝉死にたくないど泣いている	日野学園	時任	ゆずり葉	部活後に食べるアイスは絶品だ	若狭学園	西川	力太郎	
夏休み祖父母におくる暑中見舞	日野学園	世垣	桜	染まりゆく紅葉の木々と私の頬	若狭学園	福間	心葉	
風鈴の音を聞いたらねむくなる	日野学園	長谷部	夏帆	新入生期待を胸に初登校	若狭学園	平家	伸悟	
海岸を一緒に歩く初夏の日に	日野学園	小谷	花央	チューリップ赤白黄色青くらべ	若狭学園	森岡	岳大	
てばたんで家族ときそそう夏の夜	日野学園	柴田	佳子	窓の外雨を乗せた桜散る	若狭学園	森岡	岳大	
とれたてのきゅうりぼりぼり夏の味	日野学園	細田	優空	また来たか網戸にいつもアブラゼミ	若狭学園	山根	莉一	
へひりむし春にはいないどこいった	日野学園	岡本	匠生	花火見てかき氷とけ夏の夜	若狭学園	山本	若菜	
星下がり涼し緑の薫る町	日野学園	池田	大志	一つ二つ星をつくる螢かな	若狭学園	吉田	悠人	
夏の夜ほたる飛びかうふるさとに	日野学園	梅林	優衣	初雷は若桜を白く染め上げる	若狭学園	青木	一馬	
暑い夏部屋にこもって西瓜かな	日野学園	岸本	空来	この思い花火のように開花して	若狭学園	大杉	琉月	
ひまわりが朝日をあびておどってる	日野学園	福井	琉	紫陽花が雨粒浴びて七変化	若狭学園	若狭	理奈	
初雷にはしゃぐその声こたつから	日野学園	松尾	翔	ひまわりが太陽に向かって高く咲く	若狭学園	桑原	理奈	
窓辺から見えない花火は2秒後に	日野学園	松本	弥	空高くまっすぐ伸びる向日葵よ	若狭学園	小林	夏穂	
夏の川つめたい水が流れてる	日野学園	高橋	花恋	風呂上がりアイスを食べてリラックス	若狭学園	徳田	蓮	
扇風機姉と取り合い大ゲンカ	日野学園	高橋	花恋	向日葵が見たら感じるもう夏だ	若狭学園	初本	大晴	
火薬におう夜空に開く夏の花	日野学園	小谷	陽佳	入学式歓迎のため演奏だ	若狭学園	中島	果暖	
部活動うちわで扇ぎ夏しのぐ	日野学園	木山	咲	春風が季節の伝達運んでる	若狭学園	若狭	萌衣	
縁側で兄弟そろって日光浴	日野学園	川上	狂斗	河川敷ランプのように堂々	若狭学園	岡本	旺大	
屋根の下同じ顔して並ぶ梅の実	日野学園	精形	織恵	寒い日にみんなが集うストープに	若狭学園	若狭	日和	
友達と線香花火で勝負する	日野学園	遠藤	美和	夜桜や淡い色が水面上に	若狭学園	若狭	漢斗	
梅雨あけてこけが太陽おがんでる	北	五野	幸佑	暑い日に海水浴に行つて気持ちいいな	若狭学園	山根	友輝	
庭のまど送ったとんぼがおどってる	中山中	井上	敬遠	ストープへみんな集まれ集合だ	若狭学園	若狭	幹太	
眠き目のラジオ体操夏の朝	中山中	小倉	葉摘	風車くるくる回り春が来た	若狭学園	若狭	結衣	
雷催ひとりの坂道息荒し	中山中	小倉	葉摘	家帰らおいしにおい秋刀魚かな	若狭学園	若狭	泰太朗	
夏の川足を停めたる橋の上	中山中	金平	知華	夜の空花火大金花畑	若狭学園	若狭	望心	
夏の夜寝付けず見るとまだ暑時	中山中	小池	穂高	ケロケロケロ雨が降るとあまがえる	若狭学園	若狭	望心	
炎天下試合のあとのプロテイン	中山中	佐伯	大雅	秋の夜や中間テストの姉の影	東	天	純	
脱破してメロンソーダにとけた白	中山中	高見	真依	曇汁のじみみて秋のけいこ終ふ	東	天	純	
思い出を溶かして崩れ雷運席	中山中	藤木	康平	亡き祖父の手の温もりが懐かしい	東	天	純	
炎天下サッカー終わりの赤い顔	中山中	當別	元希	深い空月のしずくがまた一つ	東	天	純	
風鈴がちりんちりんと揺らぎけり	中山中	橋井	杏奈	友達と楽しく笑って夏祭り	尚徳中	世良	大地	
秋近し課題にいそしむ子供部屋	中山中	渡邊	和音	紅葉の赤き姿遠いもの	尚徳中	世良	大地	
運動会てるてる坊主も雨に濡れ	中山中	福留	風真	入道雲見つめていたらもう飯だ	尚徳中	安藤	海仁	

揚花火写には残らぬあの追力	尚徳中	伊澤 真衣	文机に焼ける日と黒い肌	尚徳中	程乃 謙
揚花火星空裂いて咲きほこる	尚徳中	本田 涼華	太陽に憧れ向日葵上を向く	尚徳中	福田 暉
カブトムシこどもはとりこ初夏の森	尚徳中	井田 創太	光出て群生と化す花火たち	尚徳中	高橋 陸斗
暑い日の空にうかぶは雲の峰	尚徳中	神野 佑斗	中三で受験に追われる夏休み	尚徳中	佐伯 岳洋
夏の夜星空をてらす花火かな	尚徳中	松田 久志	夏休み君に会えないブルーな日	尚徳中	山下 明純
風鈴の音色に勝れ夏が来る	尚徳中	古田 優紀	駆けだした勝負太鼓と夏の青	尚徳中	高田 夢斗
鮮やかな藤に染まった茄子の花	尚徳中	隅村 玲奈	あざやかな花火で空がにぎやかだ	尚徳中	森田 琳
お月様水面にうつるはくらげかな	尚徳中	下浦 麗	灯籠のまぶゆい光ああ夏祭	尚徳中	遠藤 笙源
かげろうが揺らぐは夏のまぼろし	尚徳中	平木 結菜	家帰リ冷蔵庫あけあゝ美味しい	尚徳中	池本 靖彦
ひと夏の終わりをつげる花火かな	尚徳中	峰 良輔	夏景色去年と一変様変わり	尚徳中	足立 紗良
一人部屋窓から見上げた夏の星	尚徳中	森本 逸希	走りだせ自分にまけるな駅伝部	尚徳中	足立 紗良
蝉の音耳にとびこむ管弦楽	尚徳中	森本 逸希	ふりそそぐ真夏の太陽あつあつだ	尚徳中	荒島 秀飛
七分のための馬鹿みたいな夏休み	尚徳中	岡 千尋	炎星や高鈴の祖母心配す	尚徳中	荒島 秀飛
試合中体力奪う炎天下	尚徳中	長谷川 優心	花々が夜空へ散らばる火の花が	尚徳中	福田 笑花
ミンミンとセミが鳴く声夏の音	尚徳中	三好 香蓮	公園の小学生とセミの声	尚徳中	村上 運都
夏休み米子のみんなとみる花火	尚徳中	濱田 藍花	夏の空響かせ吹いたユーフォニアム	尚徳中	上山 陽菜
縁側で猫と眺める入道雲	尚徳中	大森 葉々美	コンクール終わって見上げた入道雲	尚徳中	大原 園心
夏休み部活してたら終わりがけ	尚徳中	高田 松太郎	通信して宿題多量迫る処暑	尚徳中	池本 拓実
熱帯夜喉も気分もカラッカラ	尚徳中	川上 波琉	夏休みあつというまに最終日	尚徳中	倉本 うらら
夏の海今年は荒れて波が高い	尚徳中	足澤 歌喜	かき氷ちよっとよってのとひやす	尚徳中	倉本 うらら
ふうりんのすずやかな音鳴り響く	尚徳中	田中 空	公園に真星にひびくせみの声	尚徳中	寺田 仁成
夏祭りでは大好きなかき氷食べたいな	尚徳中	長谷川 凱叶	夏休みいろんな行事楽しみだ	尚徳中	福田 彩心
青春を託したメロディ響く夏	尚徳中	生田 千帆	夏休みもう七時なのに明るい	尚徳中	鎌田 すす
炎天下タイセイくんの古紙ランド	尚徳中	波左間 優也	夏休み海水浴へ行ききたい	尚徳中	花田 影乃
風鈴が音を奏でる夏の風	尚徳中	小林 琉楓	炎天下空の下には誰も居ず	尚徳中	川田 蒼真
かたつむり葉っぱの上でひと休憩	尚徳中	木山 桃果	熱中症命の水ださあ飲もう	尚徳中	佃 蒼真
白球をみんなと追った最後の夏	尚徳中	萩原 展生	夕焼けがきれいにひかる夏の空	尚徳中	山本 一輝
海の色キラキラ輝く夏休み	尚徳中	足立 健太	夏休み気づけば課題追いつかない	尚徳中	久保利 香歩
旧き友再び見える夏祭り	尚徳中	神庭 旭希	鈴の音が街に響くよ涼しい	尚徳中	岸本 果穂
セミの音はふうりんの音消す威力	尚徳中	池井 真奈美	夏休み一ヶ月だけどもとも早い	尚徳中	田中 虹忍
夏休み沈む夕日に響く音	尚徳中	石倉 結寿花	夏休みはかんべんして宿題よ	尚徳中	山下 玲音
揺れ動く鏡の中の金魚かな	尚徳中	松本 大知	暑き中試合に向けて走り抜く	尚徳中	高岸 眺生
夏の朝青葉若葉や光りけり	尚徳中	細田 椋良	夏休みラジオ体操操い朝だ	尚徳中	土肥 実輝
セミの声夜までつづく大合唱	尚徳中	松本 類斗	なつがきたすずしい風と良い天気	尚徳中	竹内 菜央
夜の中に光はじける花火かな	尚徳中	加藤 里汰	夏休み子供の声が響いてる	尚徳中	下田 菜々実
風鈴の音で感じる夏風だ	尚徳中	生田 真文	真夏の太陽光ってまぶしい人々照らす	尚徳中	谷上 開音
夏祭りふたりで食べたかき氷	尚徳中	宮下 琴葉	夏になりあせがすぐでるあつすぎる	尚徳中	中村 楓介
雷雨去りとびこむ景色すみわたる	尚徳中	真山 璃梨華	夏の日の外にでるとセミの声	尚徳中	江原 遼
ハラハラと練香花火手に握る	尚徳中	竹下 優那	なつやすみはめはずしすぎこうかいだ	尚徳中	今井 祥一朗
夏休み家族みんなで花火見る	尚徳中	堀人 梨那	すくすくと青つひまわり子とともに	尚徳中	木地谷 芽衣
蝉の声聞こえてくるは夏の音	尚徳中	小池 叶音	セミの声ああ始まった夏の音	尚徳中	福田 勇仁
夏休み課題におわれとねがってる	尚徳中	湯原 陸斗	暑い夏海へ行くのに良い天気	尚徳中	長石 虎太郎
風鈴の音に誘われ遠回り	尚徳中	秋田 和美	夏の夜ひびきわたるよ虫の声	尚徳中	片山 愛子
夏まつり花火が空を飾ってる	尚徳中	長谷川 純佳	暑い夏協力するよ節電に	尚徳中	相川 琴羽
夏花火友と一緒に見たかった	尚徳中	笹 楓	夏祭り屋台たくさん楽しい	尚徳中	石井 結
空見上げてうちわ片手に星を見る	尚徳中	嘉本 純心	夏の夜ふと見あげると流れ星	尚徳中	中村 凌
夏祭り日没見ながら花火待つ	尚徳中	武本 朝希	堂夜の足取りそりり手をのばす	尚徳中	大久保 杏
夏祭り気づけば手には白いくも	尚徳中	絵原 佳汰	初登校様ちりゆく友達と	尚徳中	橋本 曜生
梅雨終わり虹があふれてきれいだな	尚徳中	高田 奈緒	夏の空変わりゆく空青から緑	尚徳中	渡部 琳月
夏の夜短かく光る花火かな	尚徳中	三島 菜我	一瞬で日常無くなる温暖化	尚徳中	田中 植雅

カプトムシ木の密を食べる生きるため	桜ヶ丘中	安藤	奈珠	しゃぼん玉ぶかぶか浮かぶどこまでも	桜ヶ丘中	松村	栗
熱中症気をつけながら部活する	桜ヶ丘中	西澤	伶佑	七夕にふたりをつなぐ天の川	桜ヶ丘中	松村	栗
夕立のやみまの虹にえびす顔	桜ヶ丘中	松本	佳夕	鳴り響く夏をかんじる蝉の声	桜ヶ丘中	久保田	佐和
夏休み毎日そうめんもうあきた	桜ヶ丘中	西井	海凜	クリスマスひとりぼっちの雪だるま	桜ヶ丘中	久保田	佐和
夏祭り園にとびちる虹の花	桜ヶ丘中	西井	海凜	夏の庭ふたつならんださくらんぼ	桜ヶ丘中	久保田	佐和
夏休み思い出湧る青い空	桜ヶ丘中	岡	洸成	夏の夜星空眺め輝く目	桜ヶ丘中	松本	朋琉
かき氷頭痛くて食べれない	桜ヶ丘中	福田	慶士	冬の朝窓をのぞいて寝る雪	桜ヶ丘中	松本	朋琉
七色の光輝く虹の橋	桜ヶ丘中	金重	杏美	節分はわいわいお祝い誕生日	桜ヶ丘中	青山	愛奈
きれいだな今日も夜空に花火散る	桜ヶ丘中	河上	流雅	夏の夜チクタクうるさいかけどけい	桜ヶ丘中	神戸	仁成
夏休み虫の音響く焦り出す	桜ヶ丘中	谷口	藍	流れてる静かな夜に天河	桜ヶ丘中	神戸	仁成
渡り鳥北の国からはるばると	桜ヶ丘中	古曳	勇人	飛んでいる真っ赤な空を赤蜻蛉	桜ヶ丘中	景下	瑛介
小みかんやちよこんとすわるかがみもち	桜ヶ丘中	松田	亘史	細い月明かりが残る二日月	桜ヶ丘中	景下	瑛介
あせりまくり課題あつまるテスト期間	桜ヶ丘中	松田	亘史	なつやすみかぜがくるよねせんぶうき	桜ヶ丘中	大石	恵大
口の中熱々の香りまう栗ご飯	桜ヶ丘中	林	響生	なつやすみ風がくるよねせんぶうき	桜ヶ丘中	大石	恵大
夏休み難着として割れたどろだんご	桜ヶ丘中	林	響生	サクランポたいようキラキラこんには	桜ヶ丘中	川口	弘輝
夏休みあつというまな一ヶ月	桜ヶ丘中	中	藍	夏休み夜になるとね光る星	桜ヶ丘中	川口	弘輝
宝箱眠って出てきた大掃除	桜ヶ丘中	中	藍	夏休み風が来るよねせんぶうき	桜ヶ丘中	河上	菊菜
かたぐるまだれよりも高い夏の青	桜ヶ丘中	石田	結梨	日曜日あしたはきつと月曜日	桜ヶ丘中	河上	菊菜
夏祭り優雅に泳ぐ金魚かな	桜ヶ丘中	石田	結梨	こんにははよるになつたらこんばんは	桜ヶ丘中	中島	幹太
暑い夏今日も元気なセミの声	桜ヶ丘中	田中	悠輔	秋の色赤や黄色の紅葉だ	桜ヶ丘中	中島	幹太
夏の夜中学最後の納涼祭	桜ヶ丘中	田中	悠輔	夏祭り屋台にならぶりんごあめ	桜ヶ丘中	新大	輝
夏休み得來のための高枝体験	桜ヶ丘中	中村	真宙	赤い花引いてどきどきさそえるぞ	桜ヶ丘中	新大	輝
雷が落けつぼみが開く桜の木	桜ヶ丘中	中村	真宙	水しぶき魚が跳ねたスズキけり	桜ヶ丘中	竹田	百桃
秋の夕暮れうますぎるだろばんごはん	桜ヶ丘中	田中	玲人	おぼろ月びかびか光るさくらんぼ	桜ヶ丘中	竹田	百桃
春の青空おいしく感じるおべんとう	桜ヶ丘中	水上	和美	笑い声笑顔あふれる夏祭り	桜ヶ丘中	中山	結衣
百合が咲く水がしたたるその笑顔	桜ヶ丘中	水上	和美	花見かなあたたかい風はるやすみ	桜ヶ丘中	中山	結衣
秋まつりまるくて熱いたこやきを	桜ヶ丘中	渡部	柘吾	夏祭りかな夏の夜に輝く打上花火	桜ヶ丘中	竹田	百桃
雷降る日がんばってつくるよゆきだるま	桜ヶ丘中	渡部	柘吾	きれいだね空を見上げる夏の夜	桜ヶ丘中	朝倉	鷲
夏の日にジュースをのむとおいしいね	桜ヶ丘中	橋本	瑛太	キンキンの部屋に入ってねころがる	桜ヶ丘中	朝倉	鷲
果大金よっしゃやくぞおれペンチ	桜ヶ丘中	橋本	瑛太	夏の夜星がきらめく星取果	桜ヶ丘中	藤川	陽太
ピーバーはダムを作ってはこわされる	桜ヶ丘中	福増	七音	初雪の足跡残る地平線	桜ヶ丘中	藤川	陽太
冬の雨木の中光るみかんかな	桜ヶ丘中	福増	七音	夏まつり屋台といえぶりんごあめ	桜ヶ丘中	吉村	佳大
粉雪が静かに積もる冬の夜	桜ヶ丘中	遠越	映輔	クリスマス一年越しのプレゼント	桜ヶ丘中	吉村	佳大
夏休み海にとびこむしよっぺえなあ	桜ヶ丘中	遠越	映輔	寒い朝冬の初めの時雨かな	桜ヶ丘中	安田	優陽
夏の夜空を見上げて花火散る	桜ヶ丘中	繁延	杏星	ちんじゆふの秋の祭だ秋刀魚つり	桜ヶ丘中	安田	優陽
嵐天下セミが泣くころ夏の色	桜ヶ丘中	繁延	杏星	初風を眺めて歩く海岸沿い	桜ヶ丘中	岡嶋	峻音
夏の山見るほど雑鳥の声	桜ヶ丘中	杉田	愛莉	初夢で昔思い出す年初め	桜ヶ丘中	岡嶋	峻音
夏祭りやたいにならぶりんごあめ	桜ヶ丘中	杉田	愛莉	学校だ一日のはじまり時間割り	桜ヶ丘中	中島	菜理美
クリスマス雪降る夜に期待して	桜ヶ丘中	山崎	優衣	暑い朝元気のみなもと朝ご飯	桜ヶ丘中	中島	菜理美
夏休み朝つゆついた朝顔だ	桜ヶ丘中	宮田	るいな	夏まつり宝石みたいたいなりんごあめ	桜ヶ丘中	入江	亜美
求め鳴きいのちを宿す猫の恋	桜ヶ丘中	宮田	るいな	夏まつりゆうがに泳ぐ金魚かな	桜ヶ丘中	入江	亜美
遙かなる時超え思い空見上げ	桜ヶ丘中	河上	杏蔭	夏が過ぎえんじや紅秋絨毯	桜ヶ丘中	小谷	七葉
夏の空みんなの楽しみなつやすみ	桜ヶ丘中	河上	杏蔭	向日葵と青葉を照らす日の光	桜ヶ丘中	小谷	七葉
冬の夜サンタ来るかなクリスマス	桜ヶ丘中	嶋田	悠希	果立鳥一人でのれるよ一輪車	桜ヶ丘中	岩野	平汰
夏の風ねふた祭りの青森だ	桜ヶ丘中	嶋田	悠希	夜店きて照らし輝くりんごあめ	桜ヶ丘中	岩野	平汰
夏の雨野球の国広鳥だ	桜ヶ丘中	尾方	利光	春終り双子をつなぐさくらんぼ	桜ヶ丘中	岩野	航太
春の霧ガタンと落ちるコーヒーかな	桜ヶ丘中	尾方	利光	真夏の日中ぬるい風がふく扇風機	桜ヶ丘中	鎌谷	彰華
余花散る時手帳にはさむ写真みる	桜ヶ丘中	入江	業帆	夏の夕方みんな楽しく夏祭り	桜ヶ丘中	鎌谷	彰華
夏の空花火がきれいな今年もね	桜ヶ丘中	入江	業帆	クリスマスひとりですこす非リア充	桜ヶ丘中	福井	颯
				なつやすみゲーセン行ってけいばする			

流れ星幸せになる合図の夜	桜ヶ丘中	川角	茜音	恋人が望んだのなら共に行く	桜ヶ丘中	尾崎	杏樹
夏休み課題に追われ寝不足だ	桜ヶ丘中	河田	こころ	夏の日、暮る記憶いつの日か	桜ヶ丘中	尾崎	杏樹
ヨーヨーに針金掛けたも紙切れた	桜ヶ丘中	谷口	凛	ありあまるファンタジーを君のもとへ	桜ヶ丘中	澤田	采実
窓の外 色 彩	桜ヶ丘中	木下	楓	雀の子場から飛び立つ親のもと	桜ヶ丘中	澤田	采実
鳥取に来たらいくべき鳥取砂丘	桜ヶ丘中	植垣	環花	赤とんぼ一匹くれとねだる子や	桜ヶ丘中	中村	紗彩
しゃんしゃんは思い出される夏の日を	桜ヶ丘中	坂本	薫々	夏祭り見上げて光る虹色花火	桜ヶ丘中	小川	蓮乃佳
食べてみよ何味にする砂プリン	桜ヶ丘中	北浦	克樹	夏休み母の手作り星ごはん	桜ヶ丘中	澤田	侑里
どこみても山しかないよ鳥取県	桜ヶ丘中	田中	真琳	浴衣着てみんなで行こう夏祭り	桜ヶ丘中	坂口	結香
接眼くけむし降るよねこわいよね	桜ヶ丘中	真琳	紅葉が風にゆられてもみじ舞う	お花見だいつもとちがうピクニック	桜ヶ丘中	池ノ内	仁南
暑い砂足が熱いよやけどする	桜ヶ丘中	山本	果世	児童らのゆく道ははむのびた車	桜ヶ丘中	藤岡	葉優
夏のおしませんよサングラス	桜ヶ丘中	山本	影恵	今日も寄るまだかまだかあのツバメ	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
赤トンボ夕日の空を飛びまわる	桜ヶ丘中	山本	影恵	耳すまし貝の中から海の音	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
日光をとおしませんよサングラス	桜ヶ丘中	山本	影恵	紅葉が風にゆられてもみじ舞う	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
秋の空ゆらゆらと飛ぶ渡り鳥	桜ヶ丘中	山本	影恵	ヒマワリやいい日であれと笑をさかす	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
秋の夜上を向いたら十三夜	桜ヶ丘中	山本	果世	夏情しむ緑香花火が闇に散る	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
彼岸の日ゆらゆら生きる星砂沙華	桜ヶ丘中	山本	果世	バンはパン食べれぬパンはフライパン	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
星月夜歌が響いてきりぎりす	桜ヶ丘中	山本	果世	十二月白く輝く雪げしよう	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
風の音いままなき友の声に似る	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏休み花火大会祭りだな	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
天からの地にまでとどく金の道	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏祭り屋台いっぱい楽しそう	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
リンリンと愛情伝える鈴虫よ	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏休み最後に集る残り課題	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
もくもくと空に浮かぶよ入道雲	桜ヶ丘中	山本	影恵	桜散る楽しいクラスにさようなら	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
ビー玉の奥から見える長い髪	桜ヶ丘中	山本	影恵	彼女の瞳奥に見えるは僕の顔	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
グーチョキパーみんなで楽しくじゃんけん	桜ヶ丘中	山本	影恵	外出たら風が強くて終わったわ	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
小さな光 臘月の下夜桜かな	桜ヶ丘中	山本	影恵	花の蜜を吸う蜂	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
正月前もちを食べて満腹かな	桜ヶ丘中	山本	影恵	雲の形って不思議だな	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
ぶつぶつとうでが寒いといっている	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏休み宿題なければ最高だ	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
青空にぼつんとひとつ黒い雲	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏の夜空一面の花火映き	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
秋の風稲穂ゆらして告げる秋	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏の実屋アイストともにしふくの間	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
アイスさえ汗だからだらの暑さかな	桜ヶ丘中	山本	影恵	楽しすぎて年若がえる遊園地	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
汗ぬぐい体を冷やせせんぶうき	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏の夜北斗七星光りけり	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
夏木立見れば気分は夢心地	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏祭りフルーツあめかう友の笑み	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
夏祭り赤い梅のりんごあめ	桜ヶ丘中	山本	影恵	岸田さんまた検討して増税だ	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
海水浴海面の光猛暑かな	桜ヶ丘中	山本	影恵	熱中症対策ばっちり運動会	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
番号機渡る瞬間 赤番号	桜ヶ丘中	山本	影恵	秋の空前聖ゆらす澄んだ風	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
日光浴日差しが強くてサングラス	桜ヶ丘中	山本	影恵	秋の空澄んだそよ風もみじ舞う	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
梅雨の日に狙い定めて雨宿り	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏祭り君にピタリりんごあめ	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
メロディーは誰かが奏でた贈りもの	桜ヶ丘中	山本	影恵	白光る夢が広がる雪景色	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
クリスマスかじかむ手温める白い息	桜ヶ丘中	山本	影恵	敬老の日届く大きなマスカット	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
冬籠炬燵で夢見る冬日かな	桜ヶ丘中	山本	影恵	暑い日に無邪気に作る泥団子	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
夏休みあがる残りのりんごあめ	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏の海光る紺碧水あそび	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
甲子園ぼうずとボールわからない	桜ヶ丘中	山本	影恵	浴衣着て小さく光る緑香花火	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
かき水暑い季節にびったりだ	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏休みりょこうに行って楽しいな	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
夏祭り返りにめぐる夜の屋台	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏休み家にこもってゲームする	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
夏の夜花火といっしょにりんごあめ	桜ヶ丘中	山本	影恵	輝く砂浜照りつける日ざし美しき季節	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
パーベキューお肉も体もこんがりだ	桜ヶ丘中	山本	影恵	金魚すくい無中になりすぎそでぬれる	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
夏休みウーバーイーツ頼みがち	桜ヶ丘中	山本	影恵	想う人画面の向こう叶わぬ恋	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
夏休みいっぱいゲットポケモンを	桜ヶ丘中	山本	影恵	夏の水面上にうつる花火かな	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
夏休み見上げる空に夜の星	桜ヶ丘中	山本	影恵	寒い冬つゆ一滴とつららかな	桜ヶ丘中	伊藤	智紗
お月見に見上げた先にウサギ達	桜ヶ丘中	山本	影恵		桜ヶ丘中	伊藤	智紗
秋の夜空見上げれば星月夜	桜ヶ丘中	山本	影恵		桜ヶ丘中	伊藤	智紗

作品集(中学生)

夏の思い出試合で負けた涙の雫	梅色のふりそでをきてみたんだ	早川 慶汰	遠藤 学 中	間屋口 ころ
ひまわりが輝いてゆれる希望の風	あの人はミモザのようだ尊敬	菅 愛美	遠藤 学 中	山 岡 詩 月
秋の田のような色したラミネート	教室内どこを見ても扇風機	菅 愛美	遠藤 学 中	前 田 蒼 衣
青い山恋から見える白い雲	夏祭り今年はとなり寂しくない	菅 愛美	遠藤 学 中	渡 吉 和 樹
青い春過ぎゆく時間が愛おしい	始業式集合いを入れてイメチェンだ	菅 愛美	遠藤 学 中	磯 江 美 蘭
人間は美麗な人こそ裏がある	桜散り引つ越した子は元気かな	菅 愛美	遠藤 学 中	磯 江 美 蘭
もみじ散る運命で終わった模範試験	夏休み受験勉強でうんざりだ	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
夏の夜家族の一人犯罪者	街の中色味深まる衣替え	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
せみの声夏の日差しに過ぎ去ると	枯葉取り秋のそうじはこれ一択	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
せみの声涼しい風てひと休み	夏休み課題山盛りもう慣れた	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
春休みきれいな音色小鳥かな	夏長くでしゃばる冬に負ける秋	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
もみじ散る今年の秋は勉強だ	涼しげな風鈴鳴らす暑い風	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
雷ふる日ぼうしかぶるゆきだるま	九月ごろ秋のおとずれ金木犀	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
梅雨の日に見つけたふたごさくらんぼ	祭での金魚すくいに長い列	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
せみの音耳にこびりつきはなれない	夏休み課題追い詰め最終日	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
夏休み休みだからと九時起きる	夏祭り舌が真っ青かき水	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
海へ行く遠くに見える地平線	夜われたアジサイの中カエルいた	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
暑い夏海に行ったよ小麦肌	カタツムリ石のかべからこんには	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
散歩道見上げた空に赤とんぼ	秋北斗ひしゃくの水がぶちまけた	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
窓の外紅葉もみじいつの間	流星が消える前にお願いを	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
コロナ明け夜にひびくよ花火の音	夏の夜聞こえてくる虫の音	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
田んぼからただよう秋のかおりかな	夏の夜ふとんにもぐりゲームする	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
外に出て秋を感じるにおいかな	友達とたくさんあそんだ夏休み	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
なつやすみ友達合えずかなしいな	夏休み課題終わらず大焦り	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
星ごはん家族みんなでそうめんだ	夏野菜叔父が今年も持ってきた	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
おいしいなみんな食べるそうめんは	気溜した初冬の合図冬の暮	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
空の色もみじと一縷に色づくよ	寒い朝わざわざ起きてドイツ戦	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
帰り道夕焼けと映る僕の影	寒い朝充電0%薬えてねる	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
どんぐりがころがる自然歩きたい	手の栗と遠目のトリビートの背比べ	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
夏休みノートひらかず後地獄	菓子のあるこたつはほんとに最高だ	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
どんぐりの音が聞こえる層かな	栗の時期いろんな種類を食べ比べ	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
蝉の音が聞こえなくなる時刻かな	大きくて真っ赤なスイカにかぶりつく	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
夜ごはんおいしいサンマありがとう	夏の日に中のエアコン寒すぎる	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
朝起きてぼくをひっぱる毛布かな	夏の夜夜登残り勉強だ	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
夏祭り別れた友と空の華	夏祭り友達と金い花火見る	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
春来れば新たな出会いを探す旅	盆休みゆったり出来ず課題する	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
一人っ子家では自由お母さんぼくだけ	まだ暑い九と十月秋こない	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
ためがらんば	長い夏まだまだ暑い青い夏	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
朝方の木から降りゆく初時雨	鳥取は夏秋のかきも最後だ	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
冬の朝ゆい一見遠す初日の出	素麺の柔い温もり母の癖	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
なべを食うみんなは歯がポツロポロ	夏祭り父には悪いが友と行く	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
ネコ来たる寝込む冬の日ぼかぼかと	視野高く見上げる空の星涼し	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
かき水今年もできず過ぎた夏	白銀の外に輝く冬銀河	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
夏休み友と再会花火大会	夏の果て冬が来るのを待ちわびる	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
秋になりがらりと変わる山の色	銀世界こたつに入りみかんむく	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
家族とねこたつをかかけて大戦争	おいしいよ一年ぶりのかき水	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
梅雨始まりみんな待ち望むあおいそら	栗は今一番おいしい季節だよ	菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
鮮やかな赤が染まるスイカ割り		菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
消えてゆく線香花火のやさしい火		菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
主張するキンモクセイのあの香り		菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子
砕け散る打ち上げ花火星の下		菅 愛美	遠藤 学 中	大 谷 真 子

だんだんと夏サツカーで黒いはだ	湯栗浜中	北谷	陽	ふりしぼる飛び込む勇気海面に	湯栗浜中	井西	晃
もうおわりほんとにあつたか夏休み	湯栗浜中	川上	陽都	電気代うちわを使い軽減だ	湯栗浜中	土井	結月
冬休み休みないのに課題多い	湯栗浜中	遠藤	基一郎	忘れて汚くなった黒バナナ	湯栗浜中	鈴木	斗喜
コンクリの湿った匂い打吹祭り	湯栗浜中	小山	諒介	夏の夜螢飛びかうすんだ川	湯栗浜中	朝倉	桃花
綺麗だが少し苦手な花火の匂い	湯栗浜中	石田	晃己	緑の葉静かな風に光さす	湯栗浜中	松村	洗希
赤とんぼ水辺を走り夜風吹く	湯栗浜中	田栗	煌也	夜の海ぼつりとかぶお月様	湯栗浜中	勢登	美祐
ゆかた着てじんべい着て花火色	湯栗浜中	油木	敬紀	あまがえるへびに食べられさうなら	湯栗浜中	赤坂	実優
ふと見ると彼女のほほあかね色	湯栗浜中	岸本	結愛	暑い夏風鈴聞いてスイカ食べ	湯栗浜中	若松	結愛
夏休み理不尽すぎる登校日	湯栗浜中	寺地	善普	夏祭り花火の色はきれいだな	湯栗浜中	藤本	星夢
夏休み課題の量が地獄絵図	湯栗浜中	山中	響貴	外暑しふと降る雨や川のように	湯栗浜中	宇佐美	快斗
今夏の伝統の 一戦大敗だ	湯栗浜中	徳津	健斗	朝起きて耳に響いたせみの声	湯栗浜中	井上	智博
風鈴の涼し音色と祖母の家	湯栗浜中	馬野	獅斗	勉強中夏を感じるせみの声	湯栗浜中	山田	敬太
夏まつり屋台いっぱい何食べよう	湯栗浜中	新川	莉央	光る川螢とびかう暗い夜	湯栗浜中	森本	柚羽
滝の上登りし見るは泉かな	湯栗浜中	三ツ井	統馬	夕方夕焼け香るかせんじき	湯栗浜中	音野	陸美
夏めくやいとうつくしき霹靂神	湯栗浜中	細川	理絵	ゆらゆらと心安らぐ風鈴だ	湯栗浜中	音田	陸美
夏の夜虫の音色がきれいだな	湯栗浜中	笠見	れい	海に花火と見る花火かな	湯栗浜中	井口	且都
ほたると星天にも地にもひかりたり	湯栗浜中	岸田	悠翔	星光る夜ボンと火の花咲かせてる	湯栗浜中	市田	将太
ラムネ空風鈴の音すずやかに	湯栗浜中	長谷	日和理	夏休み気分すくく替わってる	湯栗浜中	音田	陸美
流れ星願いを込めた暑し夜	湯栗浜中	林	勁志	夏祭り初めて食べる甘い雲	湯栗浜中	藤本	明優
夏来るうちわをかけた内輪もめ	湯栗浜中	栗	葉	長夜終え短夜来ては飛ぶトンボ	湯栗浜中	井口	且都
花火さく君のとなりで思い出に	湯栗浜中	福田	優莉	夏の日のぼうずのおでこ油照り	湯栗浜中	音田	将太
夏の夜静かな夜風とうるさい虫と	湯栗浜中	網御	本蓮	青々と茂る葉様波の音	湯栗浜中	市田	将太
網を持ちつかまえるのはかぶと虫	湯栗浜中	石橋	環奈	風鈴よ静かな庭を響かせて	湯栗浜中	更田	芽優羽
暑くなり気ままにつくる梅ジュース	湯栗浜中	長谷	日和理	夏晴れに葉と葉のすきま光射す	湯栗浜中	中條	理那
風鈴の鳴る夜に食べる和菓子かな	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	夜てらす命短し青螢	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
夏まつりやたいっぱい何食べよう	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	空一面覆わたしする天の川	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
夏まつり花火がまうよ夜空にさ	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	風鈴の風向き変わる季節かな	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
涼風や螢がおどる夜の空	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	日のめぐり今年もせみの声がきこえる	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
空の下ふたりをなびく青嵐	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	雨の中飛ぶ翡翠と満る川	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
たき打たれあつときにはちょうどいい	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	暗い海溜う海月のそばに月	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
かき米しかくかびんはきつすぎる	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	母の日に思い伝わり笑顔映く	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
恋の手紙花火の下で舞い上がる	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	炎天下気付けば頭皮まっかつか	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
水無瀬友達と行き来しみまくる	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	夏の日の思い出はいつもあつあつだ	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
夏休み課題が残る最終日	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	リンリンと風でたなびく風鈴の音	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
夏祭り夜空に広がる華やかさ	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	夕焼けの赤青交じる水平線	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
炎天下試合があつてもようしゃない	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	夏暑くふと見上げると入道雲	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
ひらひらとまいちるはなびみていたり	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	夜涼し眠りにつくとセミの声	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
友達とゆかたなびかす夏祭り	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	夏休みあつというまに最終日	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
夜の空線香花火映かすかな	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	夏休み課題におわれる最終日	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
熱帯夜カエルの声でねれないや	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	キラギリスねかしてくれない虫の歌	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
川のそば水タルのけつがひかりだす	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	真つ暗な闇夜を照らす花火かな	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
かき米頭に眞夏早食いで	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	夜遅くほたるの光きれいだな	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
熱帯夜汗でびっしりサウナかな	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	夏休み風鈴の音いやされる	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
風そよぐ風鈴の音夏の色	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	暑い夏気づけばひふがまっかです	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
夏のはあついなアイス食べようか	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	風鈴が涼風感じ躍りだす	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
夏まつり彼に見せたい髪くずれ	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	月の夜ひとりただよう海月かな	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
流れてく出水はまるで滝のよう	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中	葉枝のはらはらとなる夜の音	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中
何處れどこへ行くのか君は今	湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中		湯栗浜中	湯栗浜中	湯栗浜中

夏休み冷ぼうつけて休む屋	湯梨浜中	青木	央
暗やみに大きな花火笑顔映く	湯梨浜中	磯江	豊生
ナイターの光をあびて人気者	湯梨浜中	高橋	蒼一朗
夏の風ふうりんゆれてすずしげな	湯梨浜中	西村	梨月
夏の夜暗い空には花がさく	湯梨浜中	林	幸菜
この時期は寝ると始まるせみのうた	湯梨浜中	前田	滙人
せみの声夜に鳴き出す寝れません	湯梨浜中	中山	征太
なつやすみなつまつりもたのしみだ	湯梨浜中	阪本	颯太
気を付けるインフルエンザコロナもね	湯梨浜中	阪本	颯太
運動会人数不足大変だ	湯梨浜中	有澤	弥輝
夏休み宿題せずに楽しいな	湯梨浜中	矢田	夢果
早朝にラジオ体操夏休み	湯梨浜中	坂田	就
夏休み課題に終われ寝れない夜	湯梨浜中	西村	結菜
風鈴やチリンと響く立夏かな	湯梨浜中	三島	春哉
夏祭りやつとさそえた君と行く	湯梨浜中	大木	珀琉
カブトムシ奥へにげてく森の中	湯梨浜中	細田	ありす
めぐみかな夏の暑さに風かおる	湯梨浜中	戸羽	巧真
雨あがり虹がでる空きれいだな	湯梨浜中	山本	聖奈
梅雨の時事あじさいとまるかたつむり	湯梨浜中	戸羽	巧真
夏祭あの人とするあついキス	湯梨浜中	前田	瑠璃
滝流れしぶき上がりて涼しけり	湯梨浜中	菅岩	悠真
おそくまでひよっこりみてるまぶしいやつ	湯梨浜中	兼重	結衣
水水焼け石に水熱帯夜	湯梨浜中	杉本	太一
雨あがり虹がでる空きれいだな	湯梨浜中	清水	彩矢
夏休み海に入ると日焼けする	湯梨浜中	安井	優花
張り切って早く来すぎた夏祭り	湯梨浜中	坂本	拓未
夏祭り友と行くかなしみわたる	湯梨浜中	杉谷	泉里
風鈴の小さな音と涼む夜	湯梨浜中	藤本	光華
夕焼けのオレンジ染まる日本海	湯梨浜中	藤本	光華
涼求め一目散に走り出す	湯梨浜中	藤本	光華
夜空見て君と重ねる夏の星	湯梨浜中	藤本	光華
日光でうるこがひかり鮎きらり	湯梨浜中	藤本	光華
今年こそ踊り楽しむ夏祭り	湯梨浜中	藤本	光華
梅雨の時事気分はいつもあめ模様	湯梨浜中	藤本	光華
生きてるか分からないせみ玄關に	湯梨浜中	藤本	光華
夕焼けのオレンジ染まる日本海	湯梨浜中	藤本	光華
菊は三から五月旬が来る	湯梨浜中	藤本	光華
空をとびひかっしてしめす螢いる	湯梨浜中	藤本	光華
鏡のよう夕焼け映る田んぼかな	湯梨浜中	藤本	光華
散歩中ふと川光る螢かな	湯梨浜中	藤本	光華
制服が紺から白へと衣がえ	湯梨浜中	藤本	光華
暑すぎるどんどん進む温暖化	湯梨浜中	藤本	光華
汗拭いやつとゴールだマラソンだ	湯梨浜中	藤本	光華
あの桜来年の春咲き誇る	湯梨浜中	藤本	光華
秋高しどこまでも飛ぶ親子鷹	湯梨浜中	藤本	光華
金風や雁の家族を運びやる	湯梨浜中	藤本	光華
雷合戦寒さの一換始まるぞ	湯梨浜中	藤本	光華

熱のがれ寝返り繰り返す夏の夜	湯原英学園高	井上 慧人	居なくなりいとかなしけり青い鳥	湯原英学園高	秋田 陽風汰
車窓にはザンギヨウボタルが照らす闇	湯原英学園高	井澤 悠人	鯛焼と銀光ごっこ赤瓦	湯原英学園高	福屋 嶺子
声高く志望校はと蚊の如し	湯原英学園高	宮石 悠雅	まだ五時かあたりはすっかり秋の日頃	湯原英学園高	伊藤 美海
秋休みなんてないのと問うあの日	湯原英学園高	園竹 五月	自販機に懐かしの味ミルクセーキ	湯原英学園高	河野 向日葵
食卓にパセリ出てきてちと焦り	湯原英学園高	黒岩 芽生	夏期講習思わず聞いちやう休みとは?	湯原英学園高	小 谷 瑠
山梨が流れてきそうな罫書	湯原英学園高	遠藤 なこみ	もう金えぬ者牡丹一華の如くにて	湯原英学園高	宮本 虎侍
萩の香鼻をかすめし犬踊り	湯原英学園高	福岡 碧空	モズ鳴く葉風とおる君横顔の	湯原英学園高	米田 有理沙
暑い日はスイカに限る秋の味	湯原英学園高	出水 輝	耳研ぎで雷解零の呼び声や	東京・フェリス 大女子学院高	越智 美咲
エアコンが夏に壊れて最悪だ	湯原英学園高	前田 美結	60歳挑戦止まらぬ我が父よ	湯原英学園高	杉本 香瑛
秋なくしいつになつたら秋くるの	湯原英学園高	足立 星愛良	退職後自分のパン屋開くんた	湯原英学園高	
夏花日興味無いが見てしまふ	湯原英学園高	高 橋 鳴	夏まつり肉巻きおにぎり食べちゃった	湯原英学園高	
学校の前で響くハーモニ	湯原英学園高	小 木 菜月		湯原英学園高	
秋 風 遠く 離れる 夏の 声	湯原英学園高	田 中 愛莉		湯原英学園高	
夏過ぎてだんだん聞こえる秋の声	湯原英学園高	森 本 隆一		湯原英学園高	
星月夜泳ぐ魚と元氣っ子	湯原英学園高	浜 本 芭 琉		湯原英学園高	
静かにと鳴る腹音に注意する	湯原英学園高	中 川 大空		湯原英学園高	
熱引いて今年の山も染まったな	湯原英学園高	竹 田 有 香		湯原英学園高	
風が吹く西瓜類張る縁側や	湯原英学園高	田 栗 雅 也		湯原英学園高	
紅葉布団道端の花を包み込む	湯原英学園高	小 原 聖 也		湯原英学園高	
今だけの朝焼けの空秋模様	湯原英学園高	八 島 由 情		湯原英学園高	
夕の海水面や砂に君の影	湯原英学園高	清 水 颯 太		湯原英学園高	
雲のろ紙アイスコーヒー道に流る	湯原英学園高	松 尾 一 樹		湯原英学園高	
冬の夜こたつに埋まる冬服を	湯原英学園高	常 盤 澤 維		湯原英学園高	
夏休み最後になっておあせり	湯原英学園高	鳥 飼 綾 乃		湯原英学園高	
甲子園みんなでないだダブルプレー	湯原英学園高	朝 福 藍 花		湯原英学園高	
汗まみれこういうときはかき水	湯原英学園高	名子平 きらら		湯原英学園高	
休み明け四月を始めた始業式	湯原英学園高	中 村 柚 貴		湯原英学園高	
憧れの桜ジャージで倒したい	湯原英学園高	伊 藤 愛 珠		湯原英学園高	
祖母の家片付けの息抜きにラムネ飲む	湯原英学園高	井 上 菜 月		湯原英学園高	
友達と動まし精進真夏の稽古	湯原英学園高	河 井 彰		湯原英学園高	
熱帯夜乾かぬ褥に汗のあと	湯原英学園高	須 田 慎 一		湯原英学園高	
梅雨に濡れ音聞かぬ様ドライヤー	湯原英学園高	日 置 康 太		湯原英学園高	
許せないバナナの皮とアカこうら	湯原英学園高			湯原英学園高	
やせ蛙キミはどう思う蛙化現象	湯原英学園高			湯原英学園高	
もう半分楽しい日々は流星	湯原英学園高			湯原英学園高	
うららかな春の日にいる賞花	湯原英学園高			湯原英学園高	
胸が泣く合唱終わりに静寂の中	湯原英学園高			湯原英学園高	
蝉時雨私も負けず自転車	湯原英学園高			湯原英学園高	
君の手が肌刺す風をさえぎって	湯原英学園高			湯原英学園高	
白い息今年も来たねイルミネーション	湯原英学園高			湯原英学園高	
がんばった夏のあかしの遊パング	湯原英学園高			湯原英学園高	
台風が過ぎたら夏が終わってる	湯原英学園高			湯原英学園高	
台風が連れさって行く暑い夏	湯原英学園高			湯原英学園高	
夏まつり手と手がふれあう青春刻	湯原英学園高			湯原英学園高	
二期期初め短歌の課題案が出ず	湯原英学園高			湯原英学園高	
夏の日には二人で行きたい夏祭り	湯原英学園高			湯原英学園高	
雑葉が矢張り早に変わって行く	湯原英学園高			湯原英学園高	
紅葉が街灯代わり掃り道	湯原英学園高			湯原英学園高	
秋のおとすれ高二の幕閉じあと少し	湯原英学園高			湯原英学園高	
色とりどり紅葉舞く秋を感じる	湯原英学園高			湯原英学園高	

令和6年本大会でも、
みなさんの詠んだ俳句を
募集します。



第36回全国健康福祉祭とっとり大会

ねんりんピックはばたけ鳥取2024

俳句交流大会

応募期間、応募方法など
詳細のご案内は、令和6
年4月を予定しています。

●開催日

令和6年10月20日(日)

●会場

鳥取市文化センター

鳥取市吉方温泉 3丁目 701

0857-27-5181

主催/ねんりんピックはばたけ鳥取2024 鳥取市実行委員会

共催/鳥取県俳句協会

後援/鳥取市・鳥取市教育委員会・鳥取県教育委員会